

防災出前講座

～「災害への備え（富士山火山噴火からの避難及びわたしの避難計画）」～



R 8 . 8 . 7
御 殿 場 市 危 機 管 理 課

講座の目的

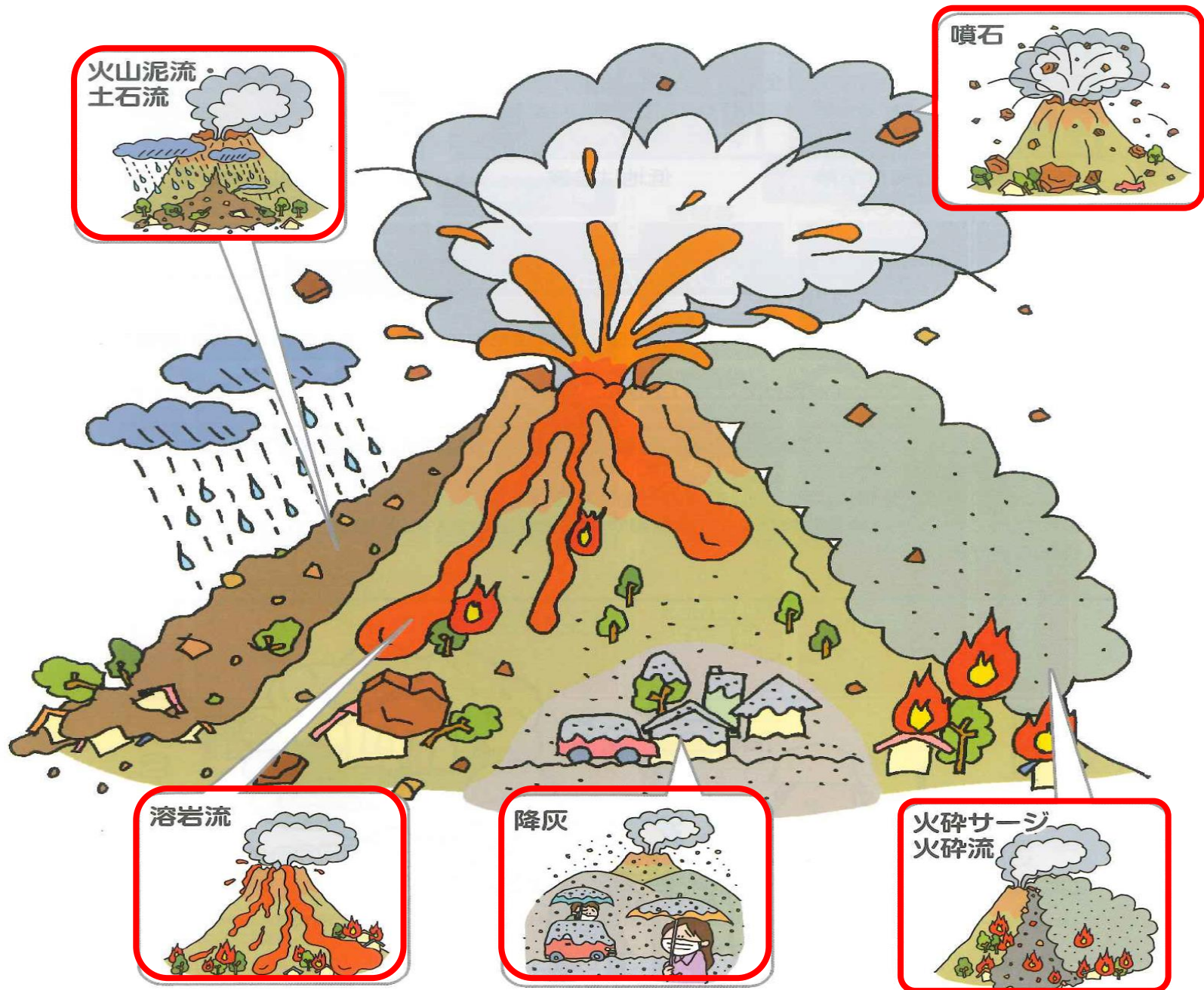
北畑区自主防災会の皆様に、富士山火山噴火発生時への備え、特に「わたしの避難計画」を作成し避難に必要な知識を身に着け、**自助力**を高めていただく。

説明項目

- 1 富士山で起こりうる噴火現象
- 2 御殿場市の富士山火山避難計画の概要
- 3 「わたしの避難計画」をつくろう
- 4 日頃の備え

1 富士山で起こりうる噴火現象

富士山で起こりうる噴火現象



富士山で起こりうる噴火現象



① 火砕流



- ・ 噴火により放出された高熱の岩石や破片が、地表に沿って流れる現象
- ・ 火山灰と空気の混ざった高熱の爆風は火砕サージ
- ・ 火砕流や火砕サージの速度は時速百km以上、温度は数百℃
- ・ 速度も早いので、**事前の避難が必要**
- ・ 御殿場市の居住地区までの**影響なし**

画像：雲仙普賢岳の火砕流の様子

写真：GIFMAGAZINE気象庁ホームページ

富士山で起こりうる噴火現象



② 大きな噴石



- ・ 概ね20～30cm以上を大きな噴石と定義。
- ・ 特に大きな物は1m超
- ・ 小さい物でも家の屋根や壁を突き破る事がある
- ・ 登山中などに危険が増した場合は、丈夫な建物内に避難
- ・ やむをえず外出する場合にはヘルメットを着用
- ・ 御殿場市の居住地区までの
影響なし

「2000年有珠山噴火による噴石被害（岡田弘氏提供）
2000年4月16日撮影」

富士山で起こりうる噴火現象



③ 溶岩流



- ・ 溶岩が斜面を流れ下る現象
- ・ 噴出したばかりの溶岩の温度：900～1200℃
- ・ 木々を燃やし、水と触れ水蒸気爆発を起こす
- ・ 流下速度は、一般的に人が歩く速さ程度
- ・ 御殿場市の居住地区までの影響あり
- ・ 人の避難は比較的容易

画像：ハワイ島・キラウエア火山の溶岩流の様子

引用：HUFFPOSTホームページ

富士山で起こりうる噴火現象



④ 融雪型火山泥流



ネバドデルルイス火山の融雪型火山泥流（1985年）
米国地質調査所のHPより

- ・ 雪の積もっている時期に、溶岩や火砕流の熱で雪が溶けて起きる泥流
- ・ 積もった雪が一気に溶ける
 - ⇒ 土石流よりも速く
大量の泥流が谷筋や沢沿いを遠方まで流下
- ・ 御殿場市の居住地区までの影響あり。
- ・ 積雪期の噴火時等には、影響範囲は事前の避難が必要

富士山で起こりうる噴火現象



⑤ 小さな噴石、降灰及び熱い降灰



写真：桜島の降灰（2009年9月）

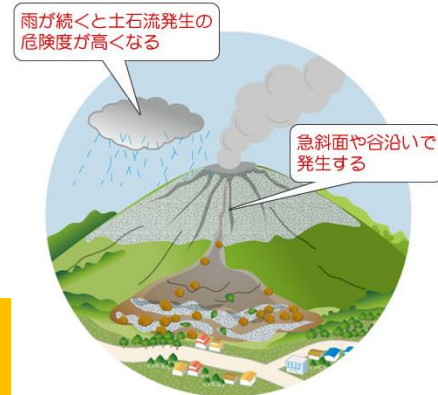
- ・ 噴火により噴出した固形物のうち、
直径2mm以上：『小さな噴石』
直径2mm以下：『火山灰』
- ・ 小さな噴石は、火口から10km以上、
火山灰は、数十kmから数百km以上風に流されて運ばれることも
- ・ 火山の風下側では爆発的噴火に気付いたら屋内等に退避すること
- ・ 御殿場市の居住地区までの影響あり
- ・ 場合によっては、立ち退き避難が必要



写真：桜島昭和火口の爆発による小さな噴石

出典：気象庁ホームページ

富士山で起こりうる噴火現象



⑥ 土石流

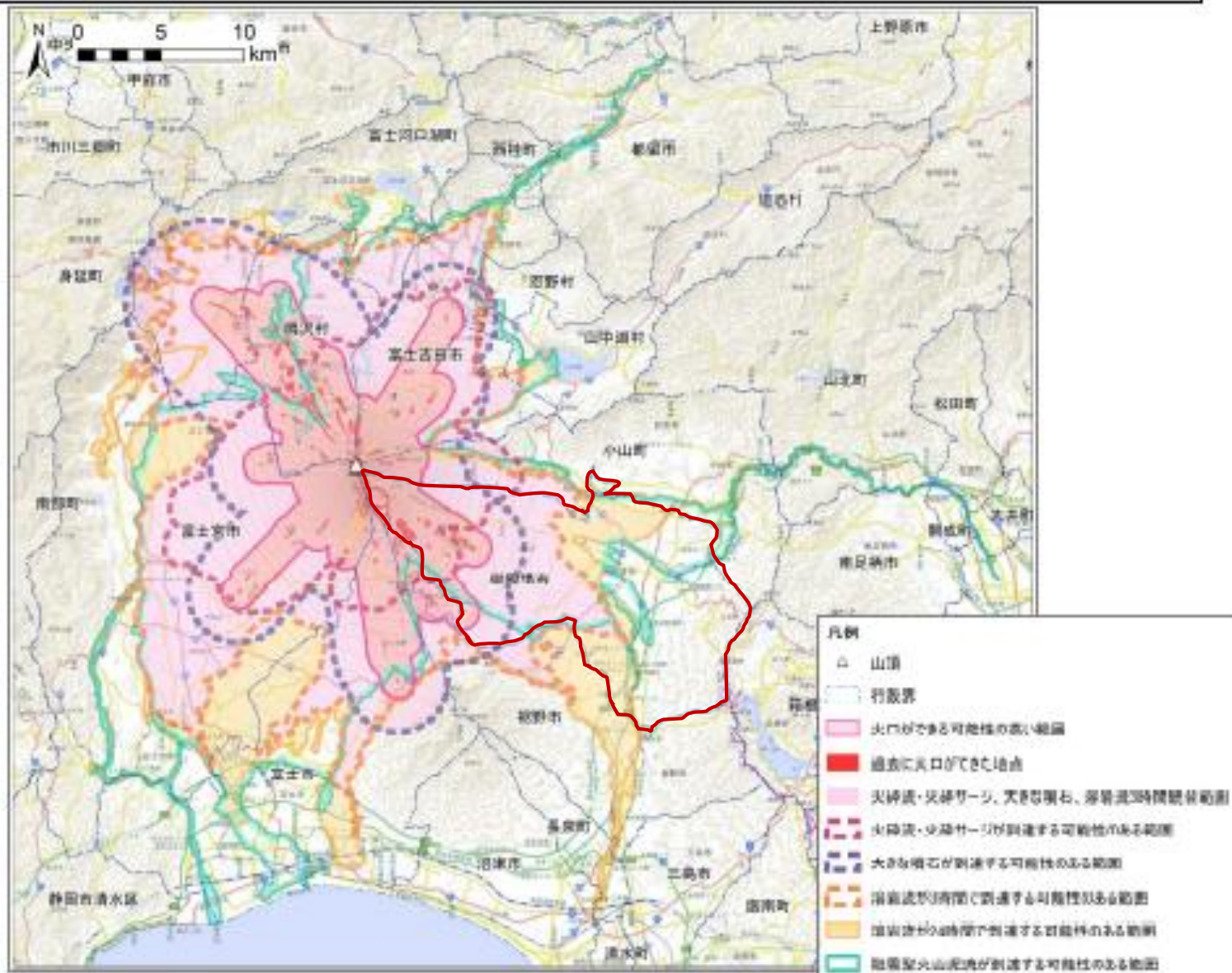


- ・火山の噴火後、火山灰の降り積もった地域に雨が降ると土石流が発生しやすくなります。
- ・こうした土石流や泥流は、高速で斜面を流れ下り、下流に大きな被害をもたらします。
- ・噴火後に雨が予想されている時は、川の近くや谷の出口に近づかないようにしましょう。
- ・影響範囲は立退き避難が必要

2 御殿場市の富士山火山避難計画 の概要

富士山噴火時の影響範囲（富士山ハザード統合マップ）

ここに着色されているすべての範囲が、同時に危険になるわけではありません。
 【仮に富士山が噴火した場合に、溶岩流・大きな噴石・火砕流などの影響がおよぶ可能性の高い範囲を、すべて重ねて描いたものです。】



第1次避難対象エリア
(想定火口範囲)

溶岩流等避難対象エリア

第2次避難対象エリア
(火砕流、大きな噴石)

第3次避難対象エリア
(溶岩流が3時間以内)

第4次避難対象エリア
(溶岩流が24時間以内)

第5次避難対象エリア
(溶岩流が7日以内)

第6次避難対象エリア
(溶岩流が最終的(57日以内))

到達予測時間

- 1 溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲
- 2 溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
- 3 溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲
- 4 溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
- 5 溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
- 6 溶岩流が2～7日間で到達する可能性がある範囲
- 7 溶岩流が最終的に到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が最終的に到達する危険性がない範囲

噴石

中畑西地区
コミュニティ供用施設

印野小

印野支所

御殿場市

竈区

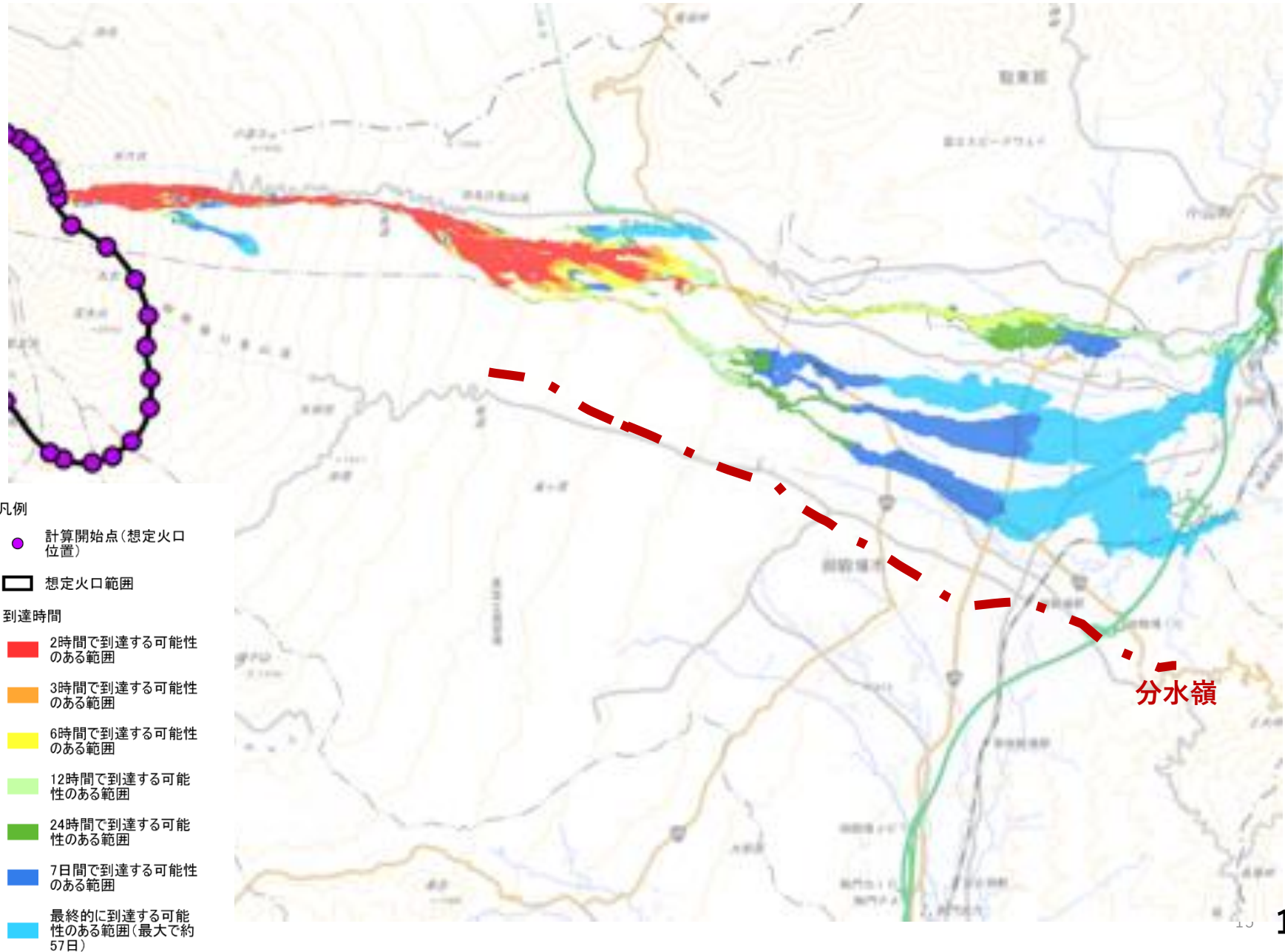
土石流

第4次避難対象エリア
(溶岩流が24時間以内)

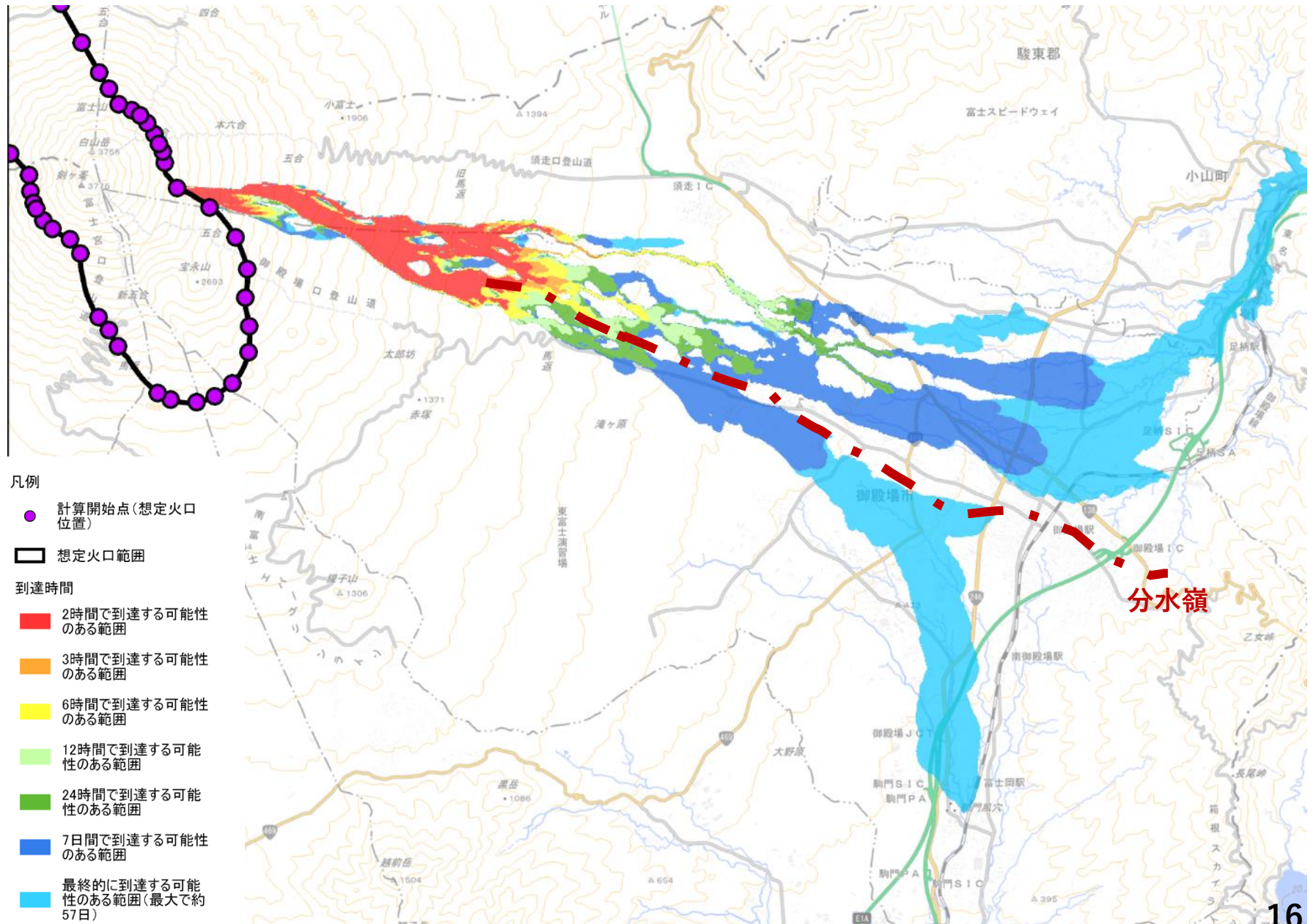
第5次避難対象エリア
(溶岩流が7日以内)

第6次避難対象エリア
(溶岩流が最終的(57日以内))

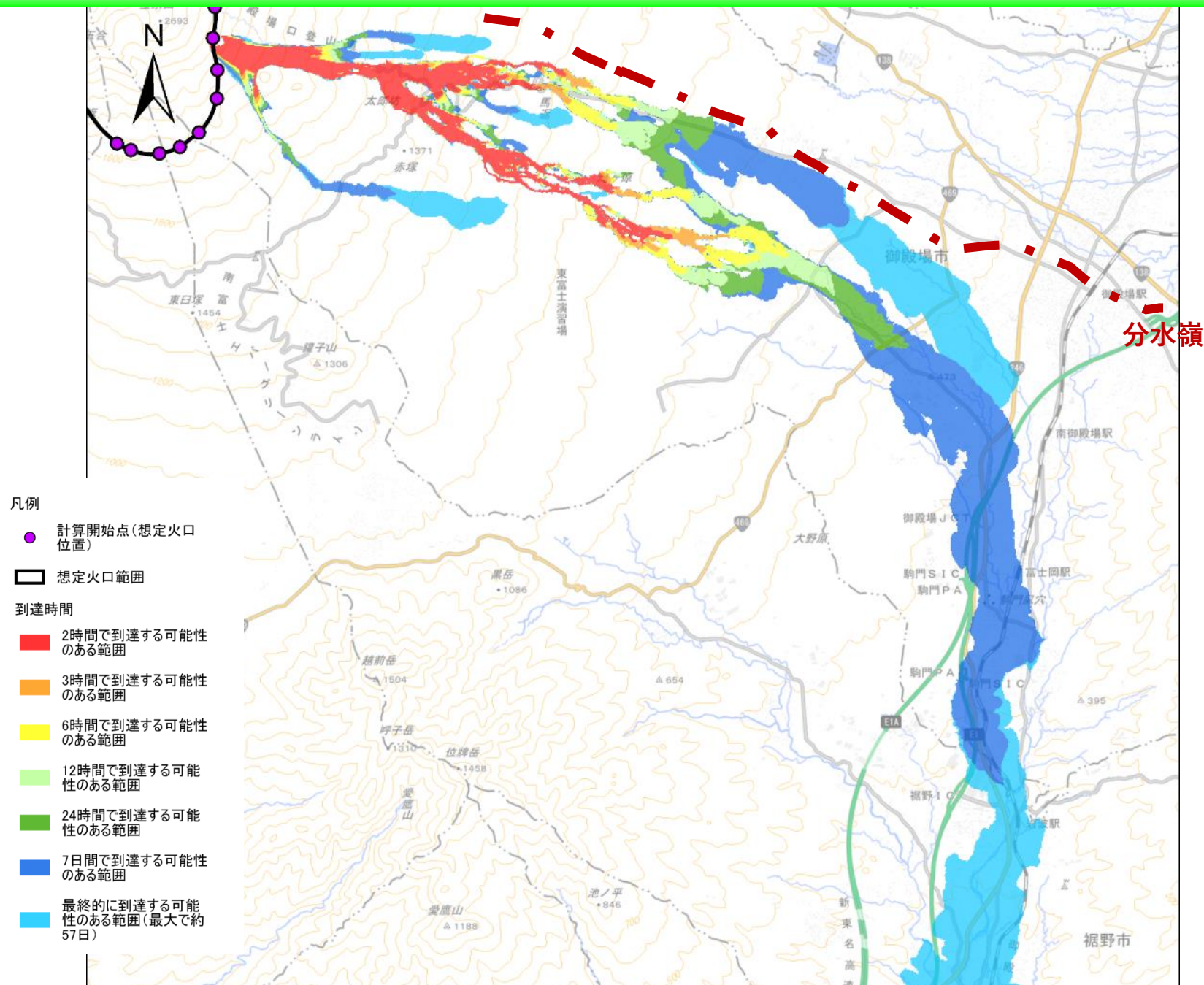
溶岩流ドリルマップ（大規模噴火L30）＝分水嶺より北（Aパターン）



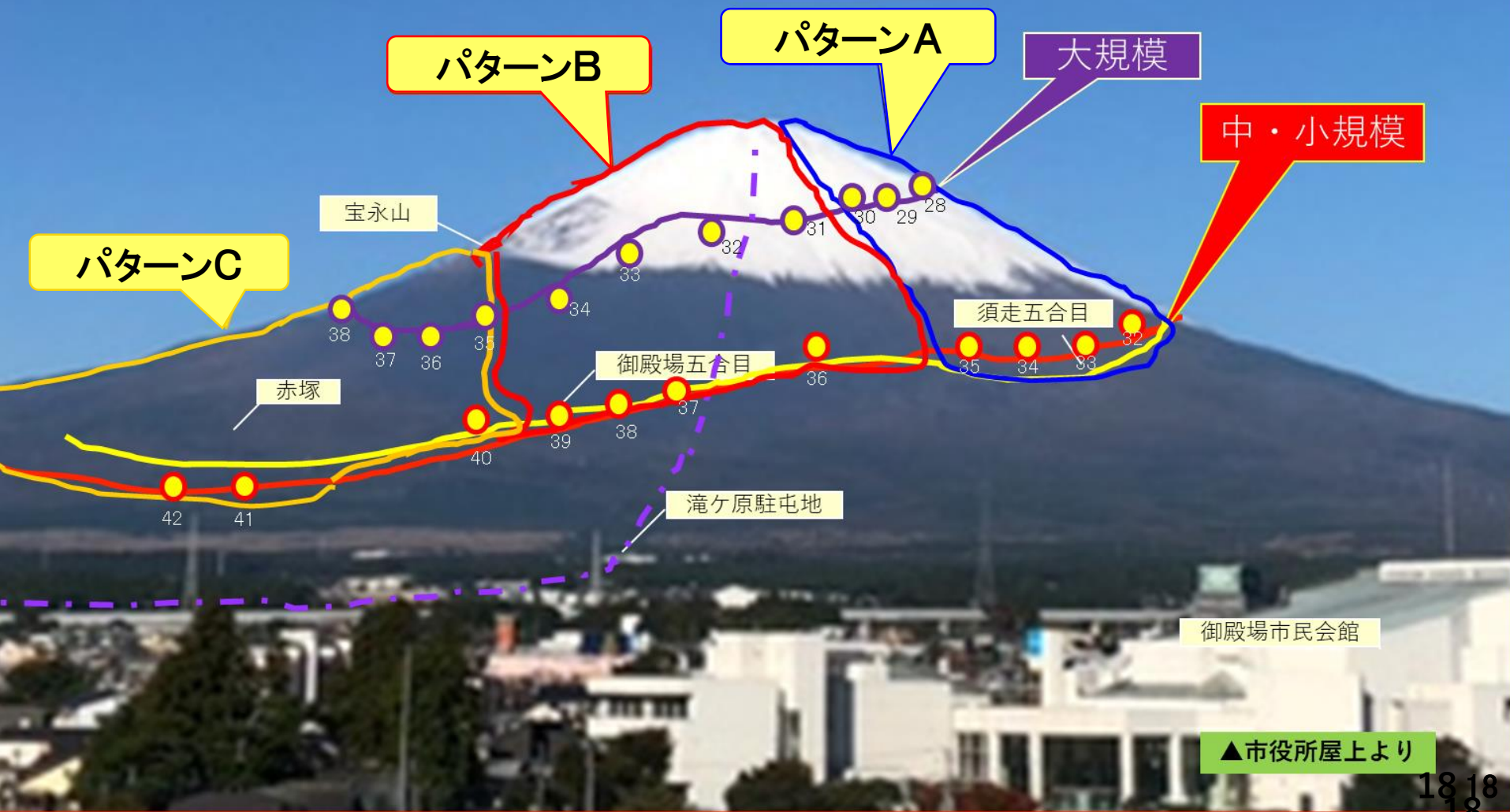
溶岩流ドリルマップ（大規模噴火L31）＝分水嶺で2分割（Bパターン）



溶岩流ドリルマップ（大規模噴火L35）＝分水嶺より南（Cパターン）

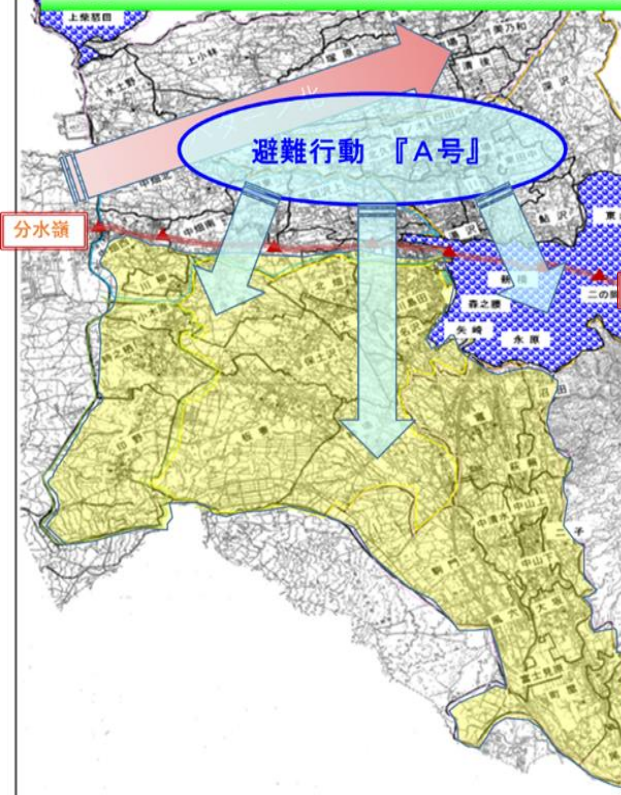


溶岩流の流下パターンを区分した想定火口範囲

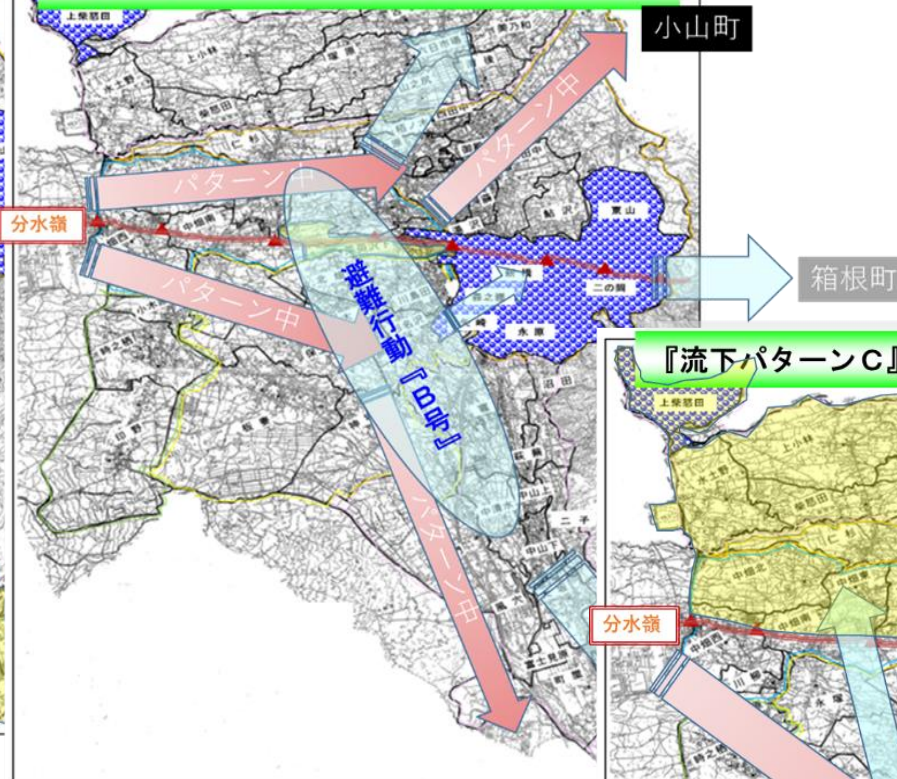


溶岩流の流下パターンによる避難の考え方

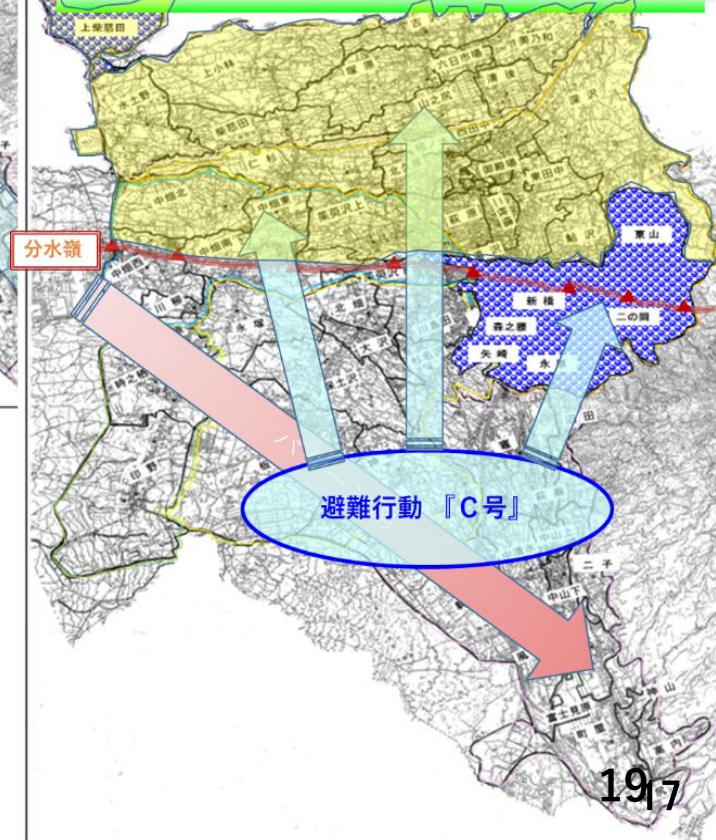
『流下パターンA』に対する避難行動『A号』



『流下パターンB』に対する避難行動『B号』



『流下パターンC』に対する避難行動『C号』



御殿場市人口(R5.5.1)

高根
4,534

御殿場
35,287

玉穂
8,625

7区
17,664

印野
1,919

原里
15,972

富士岡
16,075

溶岩流流下パターン別避難対象区

避難対象 エリア	溶岩流 到達時間	パターンA	パターンB	パターンC
3 次	2 時間			時之栖、印野、板妻
	3 時間			保土沢、神場
4 次	6 時間		中畑西	小木原、駒門、中清水 風穴、大坂、町屋、尾尻
	1 2 時間	柴怒田、仁杉 中畑北		杉名沢
	2 4 時間	上小林、水土野 山之尻、中畑東	川柳、中畑南、小木原 時之栖、永塚	竈、富士見原
5 次	7 日	古沢、塚原、六日市場 清後、美乃和 西田中、栢ノ木 北久原、御殿場、萩原 二枚橋、東田中 深沢、茱萸沢上 中畑西、中畑南	水土野、柴怒田 上小林、塚原、山之尻 六日市場、清後、仁杉、西田中 北久原、御殿場、萩原、中畑北 中畑東、茱萸沢上、保土沢 北畑 、大沢、杉名沢、板妻 神場、竈、萩蕪、中山上 中山下、沼田、二子、駒門 中清水	中畑西、川柳、中畑南 中山下、神山、高内
6 次	最終		古沢、美乃和、栢ノ木、湯沢 二枚橋、東田中、鮎沢、深沢 茱萸沢下、川島田、神山、高内 風穴、大坂、富士見原、町屋 尾尻	永塚、 北畑 、大沢 中山上、二子
到達の危険なし		東山、二の岡、新橋、永原、森之腰、矢崎		

— : パターン避難

— : リアルタイムハザードマップ（ドリルマップ避難）による避難

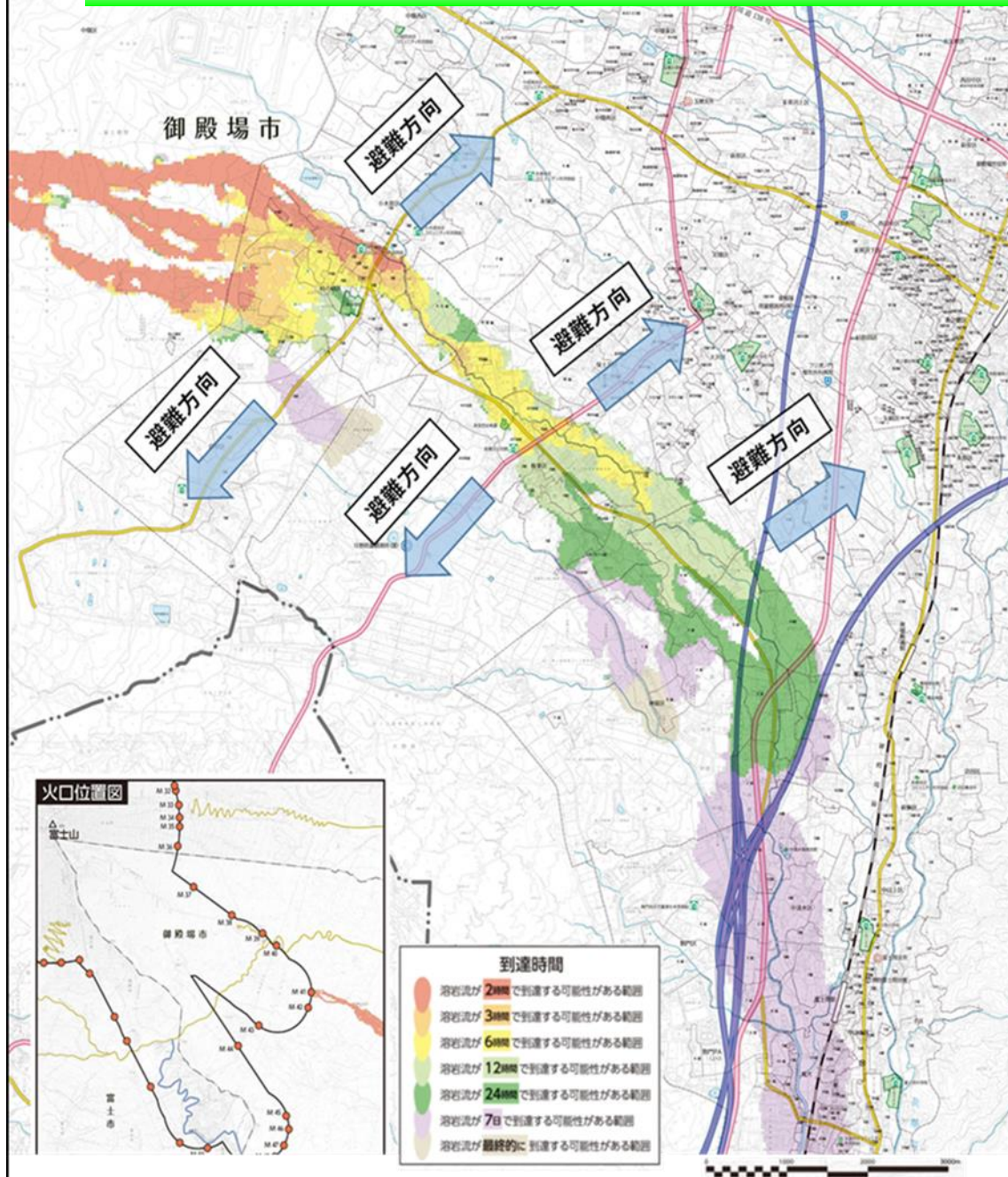
規模別・流下パターン別区分表（市全域）

	パターンA (分水嶺の北)	パターンB (分水嶺の北南)	パターンC (分水嶺の南)	規模別本数計
大規模 (L)	3 (28,29,30)	4 (31,32,33,34)	4 (35,36,37,38)	1 1
中規模 (M)	4 (32,33,34,35)	4 (36,37,38,39)	7 (40,41,42,43,44 45,46)	1 5
小規模 (S)	2 (35,36)	2 (38,39)	8 (40,41,42,43 44,45,46,47)	1 2
パターン別 本数合計	9	1 0	1 9	3 8 / 2 5 2

規模別区分表（原里地区）

一連	地 区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
31	原 里	川島田	1	1	③①				
32		森之腰	0						
33		杉名沢	15	7	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④④①④②	2	④②④③
34		神 場	23	8	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	10	③⑦③⑧③⑨④④①④②④③④④④⑤④⑥	5	④①④②④③④④④⑤
35		板 妻	23	7	③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	10	③⑦③⑧③⑨④④①④②④③④④④⑤④⑥	6	④④④①④②④③④④④⑤
36		保土沢	17	7	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④④①④②	4	④④④①④②④③
37		永 塚	10	5	③①③②③③③④③⑤	4	③⑥③⑦③⑧③⑨	1	③⑨
38		北 畑	8	5	③①③②③③③④③⑤	3	③⑦③⑧③⑨		
39		大 沢	8	5	③①③②③③③④③⑤	3	③⑦③⑧③⑨		
40		矢 崎	0						

溶岩流の流下方向に対して直交方向への避難イメージ



溶岩流からの車両避難は車両集中や降灰が生じ走行不能による
渋滞が発生する可能性が大



避難行動要支援者の逃げ遅れや救援車両の進出の遅れが発生 → **命の危険**

市街地のように傾斜が緩やかになると流下速度が低下する。溶岩流速度は徒歩より遅くなる。

流下方向に対して直交方向に避難することで安全確保が可能でありかつ避難距離も短くなる。

このため**徒歩での移動は数百mから数km程度**となる。



徒歩でも避難可能

23

避難対象者の区分と避難手段

○避難対象者の区分

区 分	避難対象者
一般住民	御殿場市内に居住する住民(避難行動要支援者を除く。)
避難行動 要支援者	自分や家族の支援だけでは避難できない高齢者や障害者で、 避難行動要支援者名簿に記載された者
観光客等	御殿場市に訪れた観光客・登山者・通勤・通学者等

○避難手段

区 分	自家用車の有無	避難手段
一般住民	あり	原則徒歩
	なし	
避難行動 要支援者	あり	自家用車
	なし	市、県が手配したバス等の車両
観光客等	あり	自家用車
	なし	公共交通機関等入域した手段

原里地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①川島田	1	L 3 1	L 3 1	森之腰公民館
②杉名沢	1 5	M 4 1	L 3 4	朝日小
③神 場	2 3	M 4 3	L 3 6	朝日小
④板 妻	2 3	M 4 2	L 3 6	原里中
⑤保土沢	1 7	M 4 1	L 3 4	原里小
⑥永 塚	1 0	L 3 4	L 3 4	市体育館
⑦北 畑	8	L 3 4	L 3 1	市体育館
⑧大 沢	8	L 3 2	L 3 1	朝日小

※ 令和5年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.12)に作成した防災マップとオーラス参照

凡例：

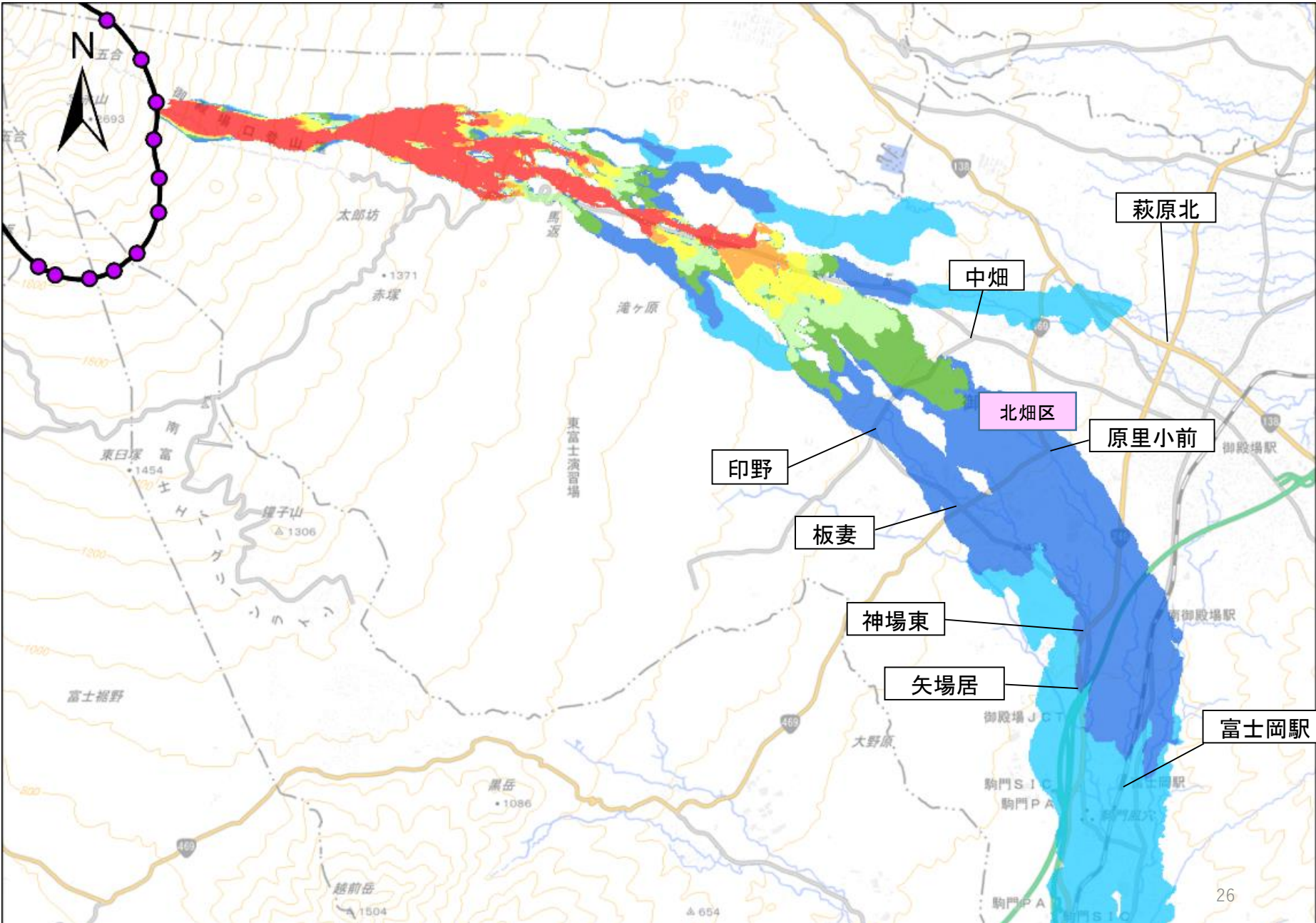
第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

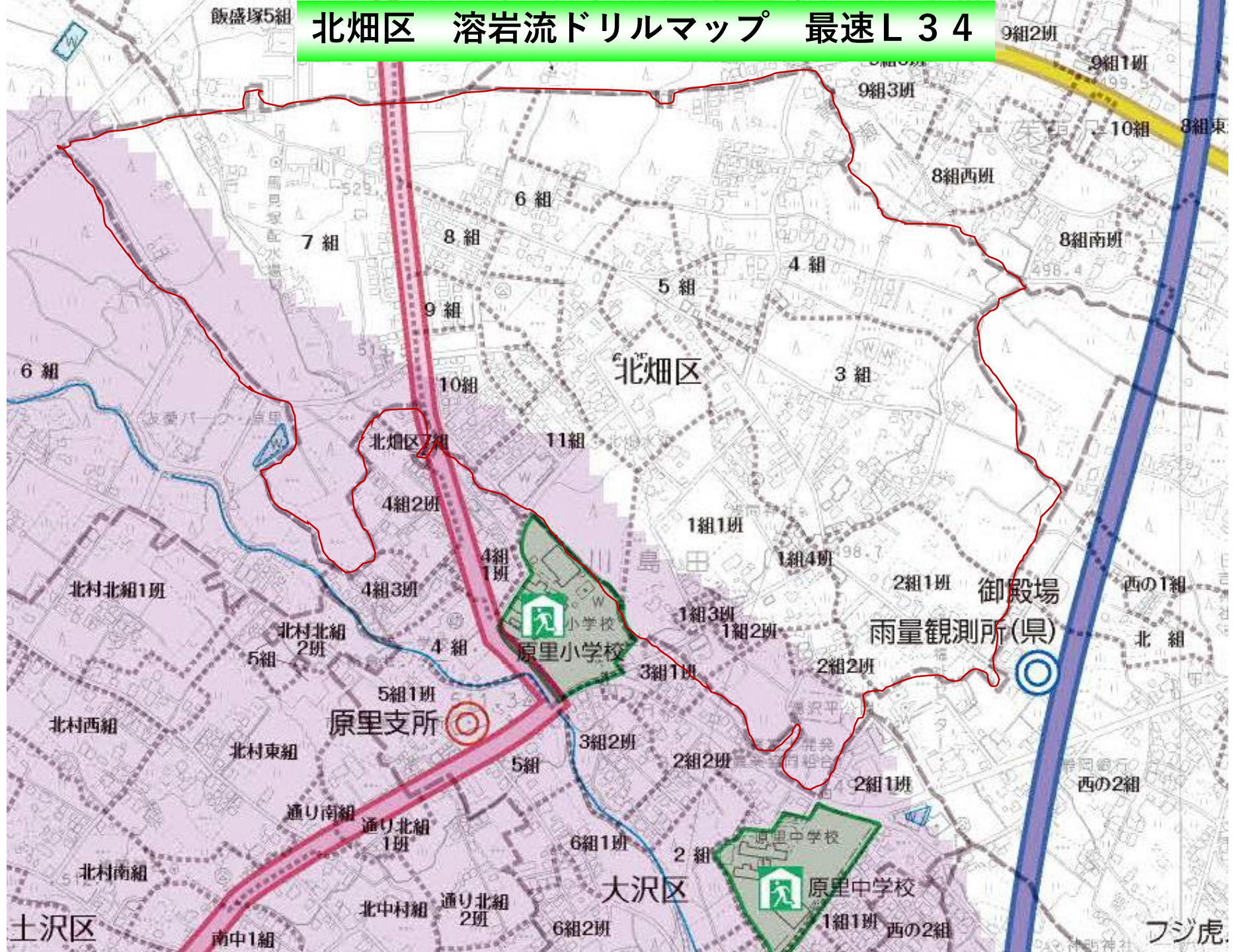
第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

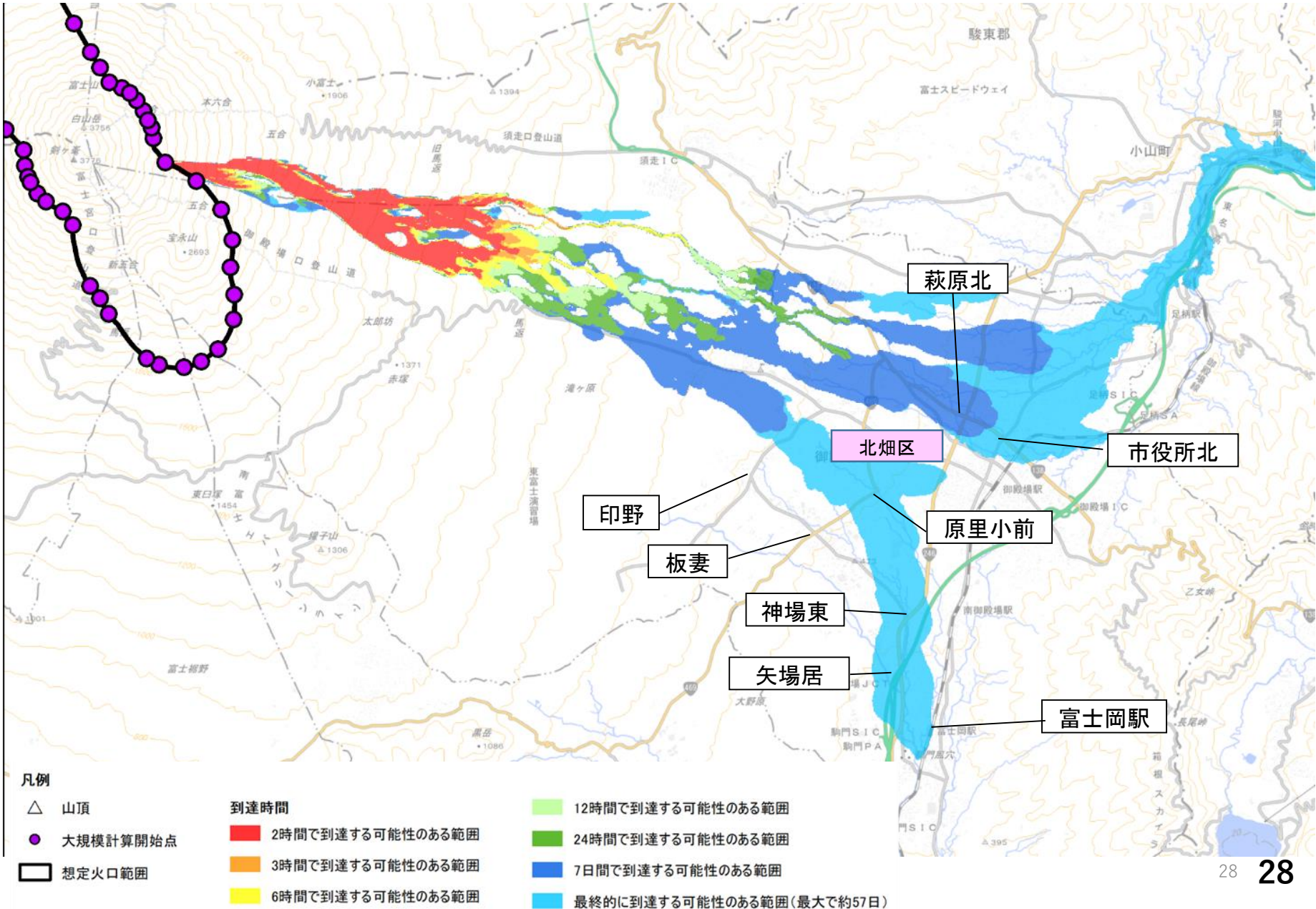
西田中区 溶岩流ドリルマップ 最速L34



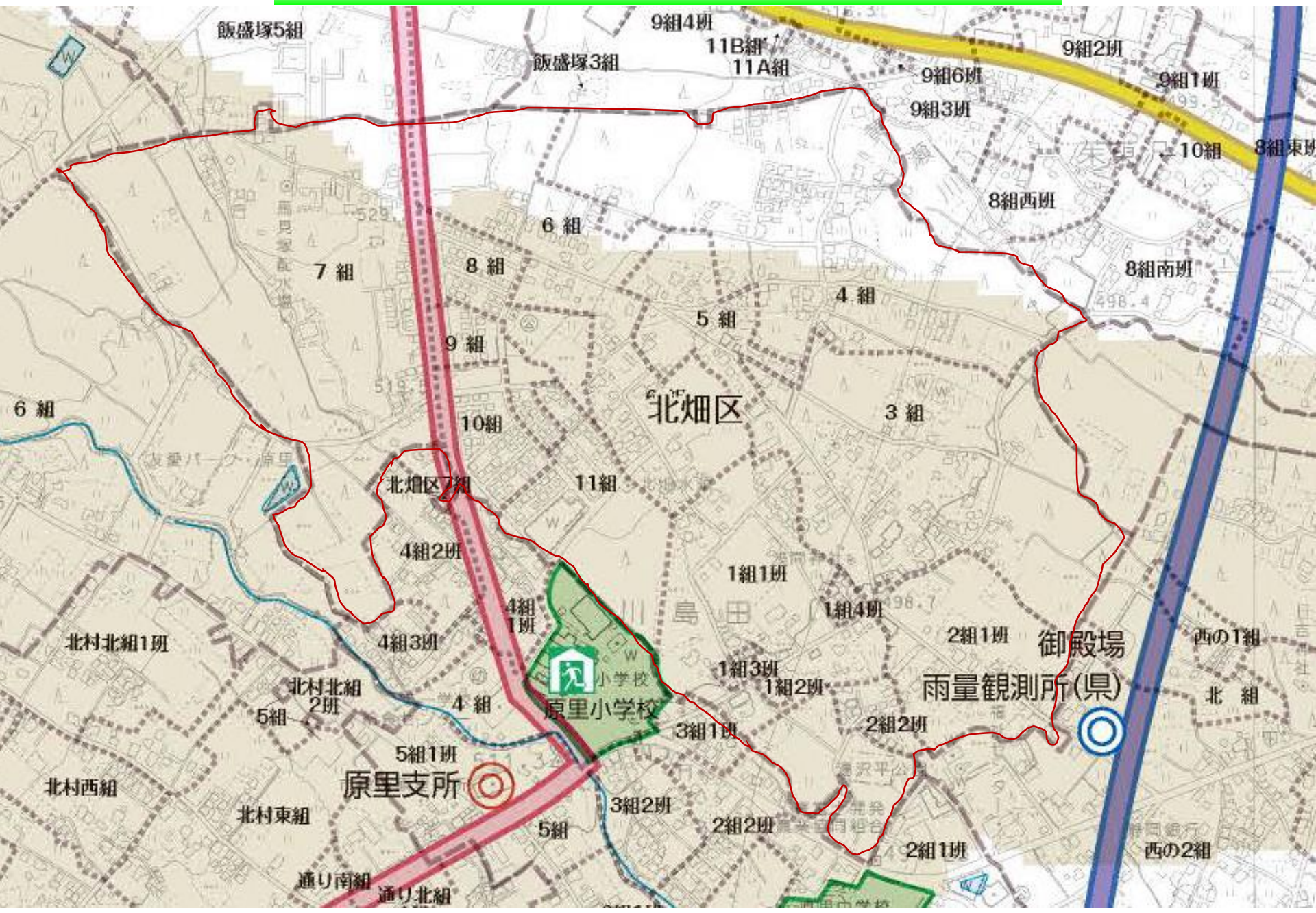
北畑区 溶岩流ドリルマップ 最速L34



北畑区 溶岩流ドリルマップ 最大L31



北畑区 溶岩流ドリルマップ 最大L31



噴火警戒レベルにおける火山活動と対応の基準

種別	名 称	対象範囲	噴火警戒レベルとキーワード		説明			
					火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応	
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル 5	避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法を判断）。	
			レベル 4	高齢者等 避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル 3	入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
		火口周辺	火山の状況に関する解説情報 (臨時)			火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。（状況に応じて火山活動に関する情報収集、避難手順の確認、防災訓練への参加等）。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
予報	噴火予報	火口内等	レベル 1	活火山であることに留意		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。		特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

30

溶岩流の流下に伴う避難対象エリア別避難等開始基準（いつ）

避難対象 エリア	第 1 次	第 2 次	第 3 次		第 4 次		第 5 次		第 6 次	
避難者の 属性	観光客等 (登山者を含む。)	観光客等	要支 援者	一般 市民	要支 援者	一般 市民	要支 援者	一般 市民	要支 援者	一般 市民
レベル 1	平 時（活火山であることに留意）									
解説情報 (臨時)	帰 宅 (登山者は下山)	帰 宅	自主的な分散避難							
情報収集										
レベル 3			自主的な分散避難							
避難準備			情報収集							
		園児・児童・生徒の引き渡し								
レベル 4			避難 開始	避難準備		情報収集				
レベル 5				避難準備				情報 収集	避難 準備	情報 収集
噴火直後				避難開始 (対象パターンで 必要な範囲)			避難準備			
噴火状況 判明後							避難開始 (リアルタイムハザードマップで 必要な範囲)			

3 わたしの避難計画をつくろう

「わたしの避難計画」とは？

「わたしの避難計画」とは？

いざという時に慌てないように、一人ひとり異なる「災害リスク」を理解し、「避難のタイミング」と「避難先」を予め計画しておき、目に付く場所に貼っておきましょう。

「わたしの避難計画」を作成することで…



が「簡単に」わかります！

「わたしの避難計画」

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に
貼っておこう！

大雨の時

河川氾濫 土砂災害

- 避難のタイミング
「高齢者等避難」が発令
- 避難先
〇〇小学校
- 情報収集手段（●を塗りつぶす）
 - ☒ 牧之原市LINE
 - ☐ まきのはらTeaメール
 - ☐ 静岡県防災アプリ
 - ☐ その他

巨大地震の時

自宅に津波が来る地域 自宅に津波が来ない地域

- 避難のタイミング
強い揺れが収まったら**すぐに**
または
強い揺れを感じなくても
「津波注意報」や「津波警報」
「大津波警報」が発表されたら
- 避難先
地震発生から
20 分以内に
〇〇小学校 に到着する
- 避難先（集合場所）
※ 区や町内会で決められている場所

その後、判断

- 自宅が危険な場合は
指定避難所へ
- 自宅にいても安全な場合は
自宅待機

わたしの避難計画本体（大雨・地震面）

作成日

年 月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫による危険

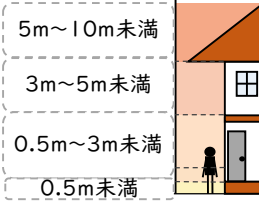
(いずれか1つに☑)

☐ 家屋流失のおそれあり

家屋流出のおそれはないが
☐ 浸水のおそれあり

[右から選んで□で囲もう]

☐ 危険なし



土砂災害による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 土砂災害のおそれあり

[下から選んで□で囲もう]

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

☐ 危険なし

<黄瀬川カメラ情報> 川の防災情報(国土交通省)

近くの川の様子を自宅から安全に確認しよう！

2次元コードが読み込めない場合は、「川の防災情報」で検索！

川の防災情報



自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

わたしの避難計画

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 〔○を付けよう 複数可〕

- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ ☒ ラジオ
- ☐ その他()



地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

大地震が
おさまったら

・ブレーカーを落とす ・ガスを止める



区の
安否確認

に集まる



自宅に被害があったら
一次避難所へ

自宅に被害がなかったら
自宅で待機

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

わたしの避難計画本体（溶岩流・融雪型火山泥流）

作成日

年

月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

溶岩流・融雪型火山泥流ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

溶岩流による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 流下のおそれあり
〔 右から選んで□で囲もう〕

☐ 危険なし

第3次避難対象エリア
(3時間以内)

第4次避難対象エリア
(24時間以内)

第5次避難対象エリア
(2日～7日以内)

第6次避難対象エリア
(8日～最終57日以内)

融雪型火山泥流による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 泥流のおそれあり
〔 下から選んで□で囲もう〕

事前避難が必要な区域(紫)

事前避難又は建物内での
垂直避難が必要な区域(赤)

徒歩による避難が可能な区域
(オレンジ)

☐ 危険なし

溶岩流可能性マップ、ドリルマップ及び融雪型火山泥流ドリルマップから
自宅の危険度を確認しよう！

富士山溶岩流
可能性マップ

富士山溶岩流
ドリルマップ
(大規模L)

(中規模M
No1)

(中規模M
No2)

(小規模)

融雪型火山泥流
ドリルマップ
(危険度区分)

降灰・小さな噴石からの自宅の危険及び対応を確認しましょう。

降灰・小さな噴石による危険

- ・火災：降灰や小さな噴石が高温のまま堆積すると発火し火災が発生することがある。
- ・家屋倒壊：降雨時30cm以上の降灰堆積厚で木造家屋が重みで倒壊する可能性がある。
- ・停電：降雨時に碍子の絶縁低下による停電が発生する可能性がある。
- ・断水：停電が発生した場合浄水場及び配水施設が停止するため断水が生じる可能性がある。

停電・断水に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

わたしの避難計画

火山 溶岩流

溶岩流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

- 情報収集手段 ○を付けよう
複数可
- ☐ 同報無線(戸別受信機)
 - ☐ 御殿場市公式LINE
 - ☐ 御殿場市ほっとメール
 - ☐ 静岡県防災アプリ
 - ☐ テレビ **a** ラジオ
 - ☐ その他()

火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

- 情報収集手段 ○を付けよう
複数可
- ☐ 同報無線(戸別受信機)
 - ☐ 御殿場市公式LINE
 - ☐ 御殿場市ほっとメール
 - ☐ 静岡県防災アプリ
 - ☐ テレビ **a** ラジオ
 - ☐ その他()

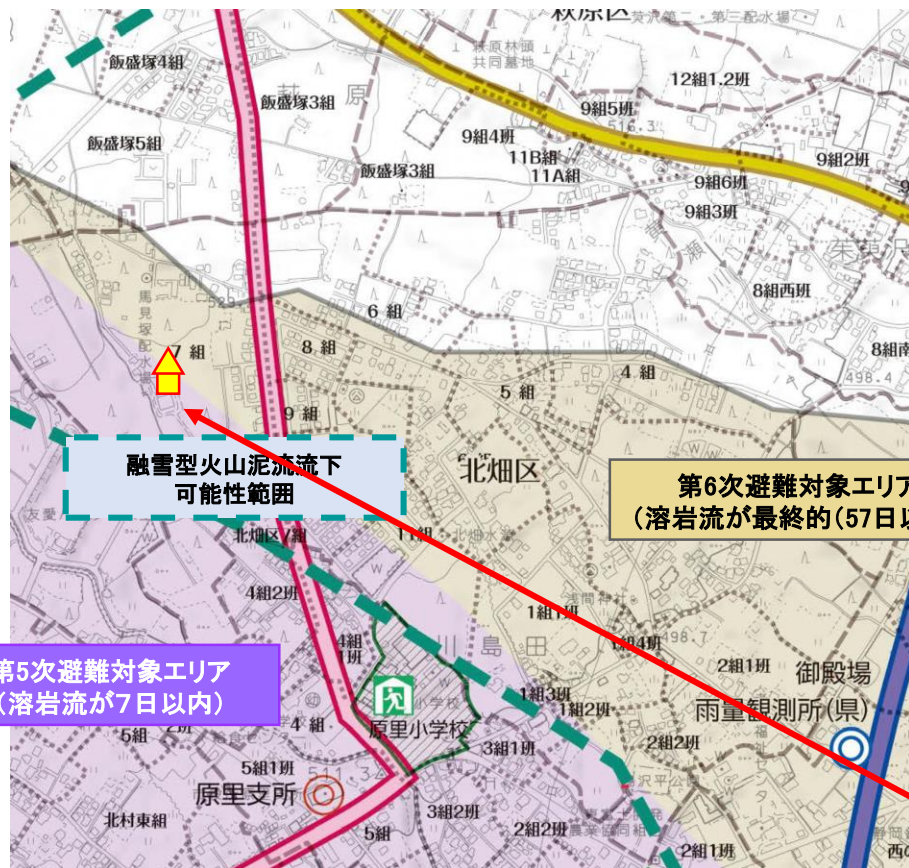


火山 溶岩流

溶岩流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市富士山溶岩流可能性マップ」及び「御殿場市富士山溶岩流ドリルマップ」で確認しよう。



※出典:御殿場市富士山溶岩流可能性マップ



凡 例	
区(班)界	界
組界	界
市指定広域避難地	
市指定広域避難所	
救護病院	
雨量観測所	
市役所・支所	
交番・駐在所	
消防署・分署	

避難対象エリア
第1次避難対象エリア (想定火口範囲)
第2次避難対象エリア (火砕流、大きな噴石)
第3次避難対象エリア (溶岩流が3時間以内)
第4次避難対象エリア (溶岩流が24時間以内)
第5次避難対象エリア (溶岩流が7日以内)
第6次避難対象エリア (溶岩流が最終的(57日以内))



(中規模M No1)



(中規模M No2)



(小規模)



知識ブック



① 上記の溶岩流の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

※注意:データ容量が大きいので、スマートフォンやタブレットを使ってダウンロードされる場合は、wi-fi環境でのご利用を推奨します。

わたしの避難計画本体（溶岩流・融雪型火山泥流）

作成日

年

月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

溶岩流・融雪型火山泥流ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

 溶岩流による危険	 融雪型火山泥流による危険
(いずれか1つに☑) ☒ 流下のおそれあり 〔 右から選んで□で囲もう 〕 ☐ 危険なし	(いずれか1つに☑) ☐ 泥流のおそれあり 〔 下から選んで□で囲もう 〕 事前避難が必要な区域(紫) 事前避難又は建物内での垂直避難が必要な区域(赤) 徒歩による避難が可能な区域(オレンジ) ☐ 危険なし
第3次避難対象エリア (3時間以内) 第4次避難対象エリア (24時間以内) 第5次避難対象エリア (2日～7日以内) 第6次避難対象エリア (8日～最終57日以内)	

溶岩流可能性マップ、ドリルマップ及び融雪型火山泥流ドリルマップから自宅の危険度を確認しよう！

富士山溶岩流可能性マップ	富士山溶岩流ドリルマップ(大規模L)	(中規模M No1)	(中規模M No2)	(小規模)	融雪型火山泥流ドリルマップ(危険度区分)
					

降灰・小さな噴石からの自宅の危険及び対応を確認しましょう。

降灰・小さな噴石による危険

- ・火災：降灰や小さな噴石が高温のまま堆積すると発火し火災が発生することがある。
- ・家屋倒壊：降雨時30cm以上の降灰堆積厚で木造家屋が重みで倒壊する可能性がある。
- ・停電：降雨時に碍子の絶縁低下による停電が発生する可能性がある。
- ・断水：停電が発生した場合浄水場及び配水施設が停止するため断水が生じる可能性がある。

停電・断水に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

わたしの避難計画

火山 溶岩流

溶岩流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング 	●情報収集手段 ○を付けよう 複数可 ☐ 同報無線(戸別受信機) ☐ 御殿場市公式LINE ☐ 御殿場市ほっとメール ☐ 静岡県防災アプリ ☐ テレビ  ラジオ ☐ その他()
●避難先 	

火山 融雪型火山泥流

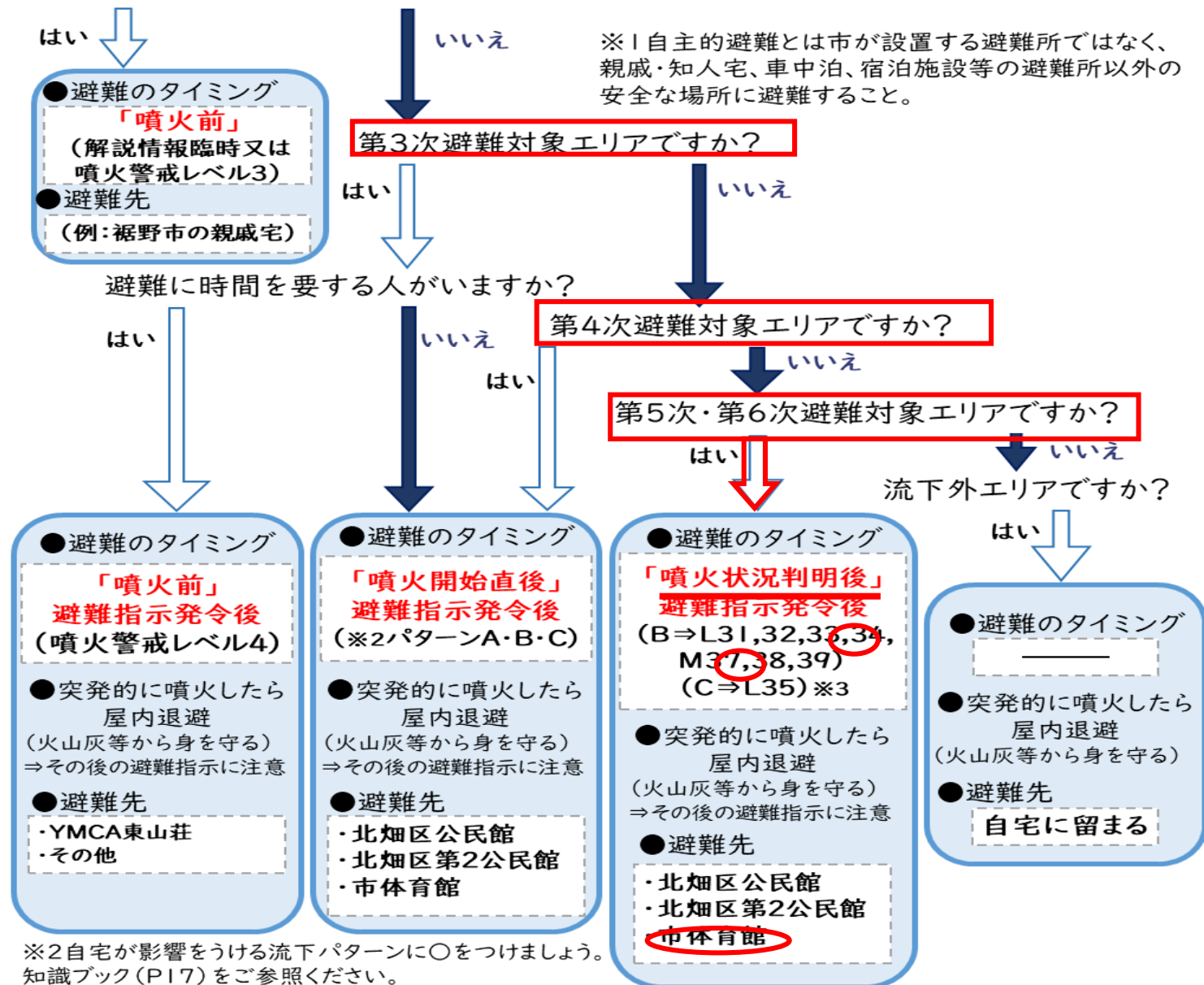
融雪型火山泥流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング 	●情報収集手段 ○を付けよう 複数可 ☐ 同報無線(戸別受信機) ☐ 御殿場市公式LINE ☐ 御殿場市ほっとメール ☐ 静岡県防災アプリ ☐ テレビ  ラジオ ☐ その他()
●避難先 	

溶岩流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

噴火警戒レベル1（解説情報（臨時））が発表されたら※1 自主的避難ができる。



わたしの避難計画本体（溶岩流・融雪型火山泥流）

作成日

年

月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

溶岩流・融雪型火山泥流ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

 溶岩流による危険	 融雪型火山泥流による危険
(いずれか1つに☑) ☒ <u>流下のおそれあり</u> 〔 右から選んで□で囲もう 〕 ☐ <u>危険なし</u>	(いずれか1つに☑) ☐ <u>泥流のおそれあり</u> 〔 下から選んで□で囲もう 〕 ☐ <u>危険なし</u>
第3次避難対象エリア (3時間以内)	事前避難が必要な区域(紫)
第4次避難対象エリア (24時間以内)	事前避難又は建物内での 垂直避難が必要な区域(赤)
第5次避難対象エリア (2日～7日以内)	徒歩による避難が可能な区域 (オレンジ)
第6次避難対象エリア (8日～最終57日以内)	

溶岩流可能性マップ、ドリルマップ及び融雪型火山泥流ドリルマップから
自宅の危険度を確認しよう！

富士山溶岩流 可能性マップ	富士山溶岩流 ドリルマップ (大規模L)	(中規模M No1)	(中規模M No2)	(小規模)	融雪型火山泥流 ドリルマップ (危険度区分)
					

降灰・小さな噴石からの自宅の危険及び対応を確認しましょう。

降灰・小さな噴石による危険

- ・火災：降灰や小さな噴石が高温のまま堆積すると発火し火災が発生することがある。
- ・家屋倒壊：降雨時30cm以上の降灰堆積厚で木造家屋が重みで倒壊する可能性がある。
- ・停電：降雨時に碍子の絶縁低下による停電が発生する可能性がある。
- ・断水：停電が発生した場合浄水場及び配水施設が停止するため断水が生じる可能性がある。

停電・断水に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

わたしの避難計画

火山 溶岩流

溶岩流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

避難指示発令後

●避難先

市体育館

●情報収集手段 ○を付けよう
複数可

- ☐ 同報無線（戸別受信機）
- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ  ラジオ
- ☐ その他（ ）

火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 ○を付けよう
複数可

- ☐ 同報無線（戸別受信機）
- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ  ラジオ
- ☐ その他（ ）

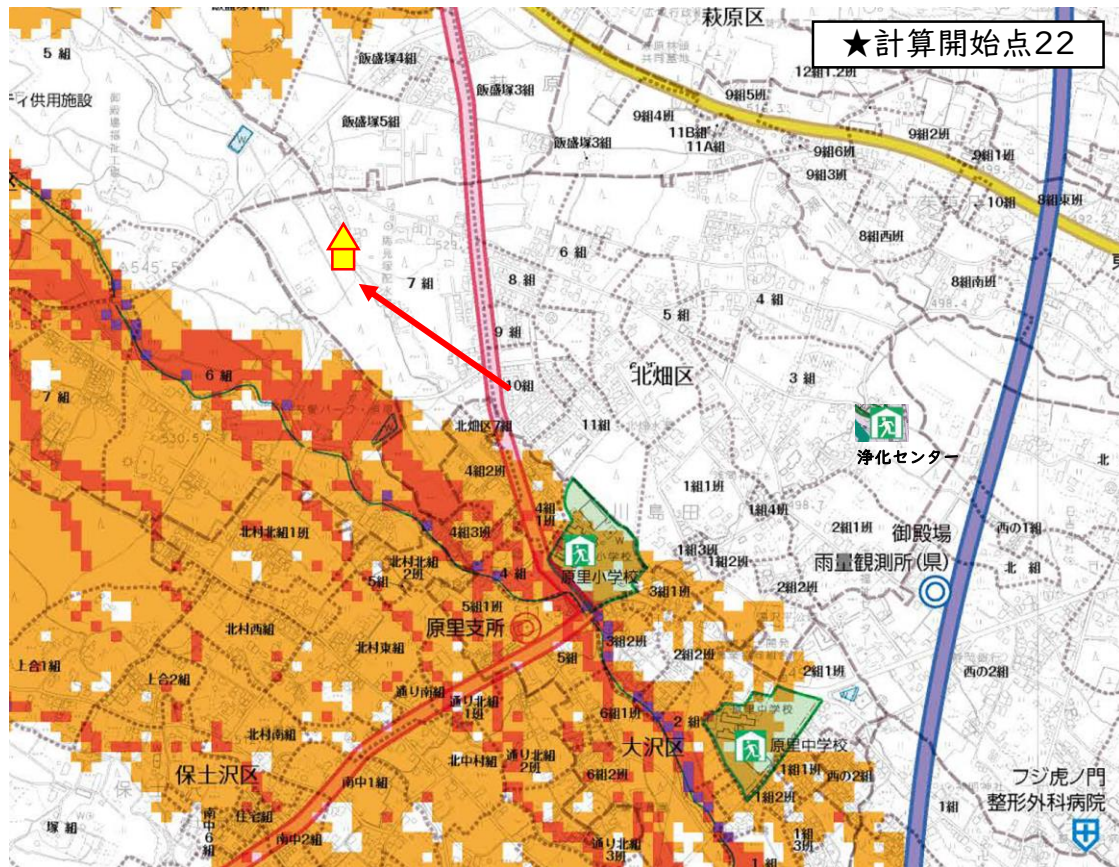


火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ」で確認しよう。



御殿場市富士山
融雪型火山泥流
ドリルマップ
(危険度区分)



ゆうせつがた か ざんでいりゅう 融雪型火山泥流

雪が積もっている時に噴火しそうな場合、沢や川には近寄らないようにする必要があります。

(積もった雪が火砕流により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれるおそれのある範囲を示しています。)



雪が積もっている季節に噴火が始まると、火砕流などの高温の岩で雪が解けて、斜面の土砂を取り込んで高速で流れ下ります。おもに谷底など低いところを流れますが、あふれて広がることもあります。山頂付近から一気に流れ下るので早めの避難が必要です。

危険度区分

- 十分な注意を払った上で、徒歩による避難が可能な条件の区域
- 事前の避難または建物内での垂直避難が必要な区域
- 事前の避難が必要な区域

わたしの避難計画本体（溶岩流・融雪型火山泥流）

作成日

年

月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

溶岩流・融雪型火山泥流ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

 溶岩流による危険	 融雪型火山泥流による危険
(いずれか1つに☑) ☒ <u>流下のおそれあり</u> 〔 右から選んで□で囲もう 〕 ☐ <u>危険なし</u>	(いずれか1つに☑) ☐ <u>泥流のおそれあり</u> 〔 下から選んで□で囲もう 〕 ☒ <u>危険なし</u>
第3次避難対象エリア (3時間以内)	事前避難が必要な区域(紫)
第4次避難対象エリア (24時間以内)	事前避難又は建物内での 垂直避難が必要な区域(赤)
第5次避難対象エリア (2日～7日以内)	徒歩による避難が可能な区域 (オレンジ)
第6次避難対象エリア (8日～最終57日以内)	

溶岩流可能性マップ、ドリルマップ及び融雪型火山泥流ドリルマップから
自宅の危険度を確認しよう！

富士山溶岩流 可能性マップ	富士山溶岩流 ドリルマップ (大規模L)	(中規模M No1)	(中規模M No2)	(小規模)	融雪型火山泥流 ドリルマップ (危険度区分)
					

降灰・小さな噴石からの自宅の危険及び対応を確認しましょう。

降灰・小さな噴石による危険

- ・火災：降灰や小さな噴石が高温のまま堆積すると発火し火災が発生することがある。
- ・家屋倒壊：降雨時30cm以上の降灰堆積厚で木造家屋が重みで倒壊する可能性がある。
- ・停電：降雨時に碍子の絶縁低下による停電が発生する可能性がある。
- ・断水：停電が発生した場合浄水場及び配水施設が停止するため断水が生じる可能性がある。

停電・断水に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

わたしの避難計画

火山 溶岩流

溶岩流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

避難指示発令後

●避難先

御殿場高校

●情報収集手段 ○を付けよう
複数可

- ☐ 同報無線（戸別受信機）
- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ ☒ ラジオ
- ☐ その他（ ）

火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 ○を付けよう
複数可

- ☐ 同報無線（戸別受信機）
- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ ☒ ラジオ
- ☐ その他（ ）

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

噴火警戒レベル1（解説情報（臨時））が発表されたら※1 自主的避難ができる。

はい

●避難のタイミング
（積雪期）

「噴火前」
（解説情報臨時又は
噴火警戒レベル3）

（例：裾野市の親戚宅）

いいえ

※1 自主的避難とは市が設置する避難所ではなく、
親戚・知人宅、車中泊、宿泊施設等の避難所以外の
安全な場所に避難すること。

融雪型火山泥流の危険度区分は【紫】ですか？

はい

いいえ

融雪型火山泥流の危険度区分は
【赤又はオレンジ】ですか？

はい

いいえ

●避難のタイミング
（積雪期）

「噴火前」
（噴火警戒レベル4）

⇒避難指示に注意

●突発的に噴火したら
屋内退避
（火山灰等から身を守る）

●避難先

・北畑区公民館
・北畑区第2公民館
・市体育館
・近隣の堅牢な建物
の上階

●避難のタイミング
（積雪期）

「噴火状況判明後」
（噴火警戒レベル5）

⇒避難指示に注意

●突発的に噴火したら
垂直避難
（火山灰等から身を守る）

●避難先

・自宅の2階以上の上階
・エリア外の高台又は建
物

●避難のタイミング
——

●突発的に噴火したら
屋内退避
（火山灰等から身を守る）

●避難先

自宅に留まる

わたしの避難計画本体（溶岩流・融雪型火山泥流）

作成日

年 月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

溶岩流・融雪型火山泥流ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

 溶岩流による危険	 融雪型火山泥流による危険
(いずれか1つに☑) ☒ 流下のおそれあり 〔 右から選んで□で囲もう 〕 ☐ 危険なし	(いずれか1つに☑) ☒ 泥流のおそれあり 〔 下から選んで□で囲もう 〕 事前避難が必要な区域(紫) 事前避難又は建物内での垂直避難が必要な区域(赤) 徒歩による避難が可能な区域(オレンジ) ☐ 危険なし
第3次避難対象エリア (3時間以内) 第4次避難対象エリア (24時間以内) 第5次避難対象エリア (2日～7日以内) 第6次避難対象エリア (8日～最終57日以内)	

溶岩流可能性マップ、ドリルマップ及び融雪型火山泥流ドリルマップから自宅の危険度を確認しよう！

富士山溶岩流可能性マップ	富士山溶岩流ドリルマップ (大規模L)	(中規模M No1)	(中規模M No2)	(小規模)	融雪型火山泥流ドリルマップ (危険度区分)

降灰・小さな噴石からの自宅の危険及び対応を確認しましょう。

降灰・小さな噴石による危険

- ・火災：降灰や小さな噴石が高温のまま堆積すると発火し火災が発生することがある。
- ・家屋倒壊：降雨時30cm以上の降灰堆積厚で木造家屋が重みで倒壊する可能性がある。
- ・停電：降雨時に碍子の絶縁低下による停電が発生する可能性がある。
- ・断水：停電が発生した場合浄水場及び配水施設が停止するため断水が生じる可能性がある。

停電・断水に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

わたしの避難計画

火山 溶岩流

溶岩流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング 避難指示発令後	●情報収集手段 〔○を付けよう 複数可〕 ☐ 同報無線（戸別受信機） ☐ 御殿場市公式LINE ☐ 御殿場市ほっとメール ☐ 静岡県防災アプリ ☐ テレビ  ラジオ ☐ その他（ ）
●避難先 御殿場高校	

火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流からの避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング 	●情報収集手段 〔○を付けよう 複数可〕 ☐ 同報無線（戸別受信機） ☐ 御殿場市公式LINE ☐ 御殿場市ほっとメール ☐ 静岡県防災アプリ ☐ テレビ  ラジオ ☐ その他（ ）
●避難先 自宅に留まる	

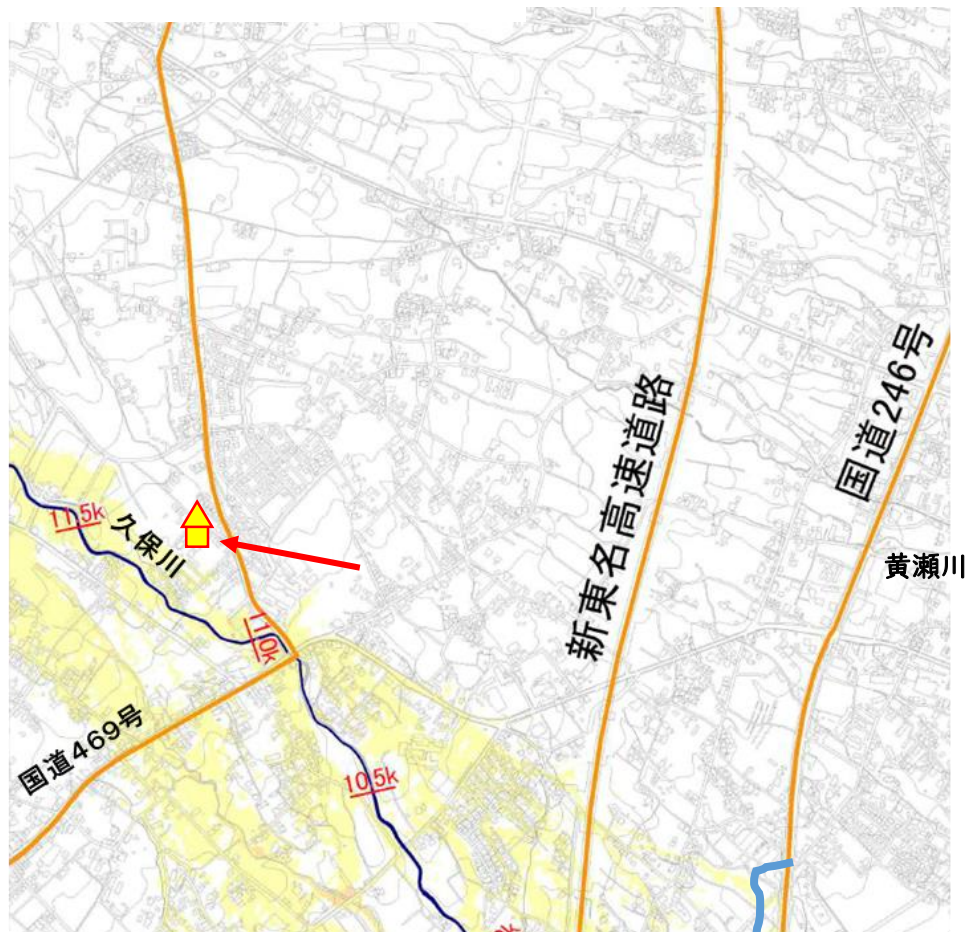
大雨(河川氾濫・ 土砂災害)

北畑区

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市防災マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。



※出典：久保川浸水想定区域図



① 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう



河川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域及び土砂災害警戒区域・特別警戒区域
※出典：御殿場市洪水ハザードマップ

わたしの避難計画本体（大雨・地震面）

作成日

年

月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 家屋流失のおそれあり

家屋流出のおそれはないが
☐ 浸水のおそれあり

[右から選んで□で囲もう]

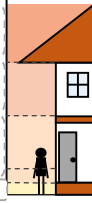
☒ 危険なし

5m~10m未満

3m~5m未満

0.5m~3m未満

0.5m未満



土砂災害による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 土砂災害のおそれあり

[下から選んで□で囲もう]

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

☐ 危険なし

<黄瀬川カメラ情報> 川の防災情報(国土交通省)

近くの川の様子を自宅から安全に確認しよう！

2次元コードが読み込めない場合は、「川の防災情報」で検索！

川の防災情報

検索



自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

わたしの避難計画

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 〔○を付けよう 複数可〕

- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ ☒ ラジオ
- ☐ その他()



地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

大地震が
おさまったら

・ブレーカーを落とす ・ガスを止める



区の
安否確認

に集まる



自宅に被害があったら
一次避難所へ

自宅に被害がなかったら
自宅で待機

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

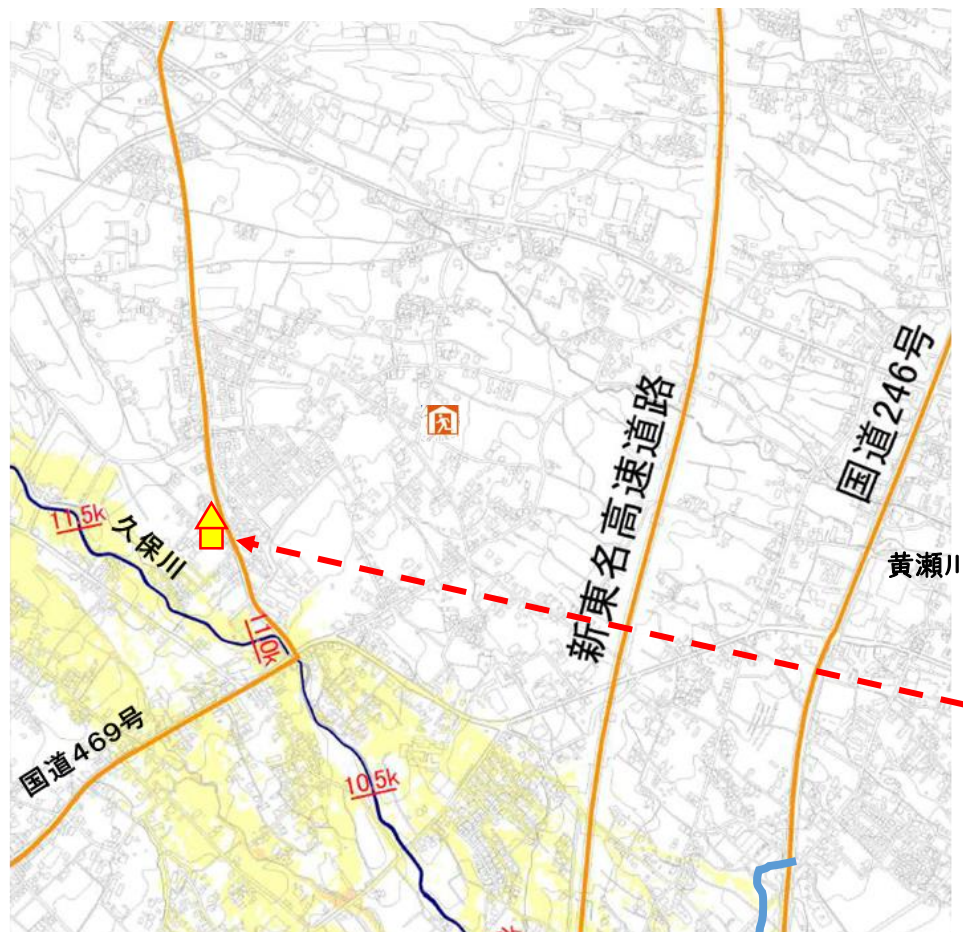
大雨(河川氾濫・ 土砂災害)

竈区

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市防災マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。



※出典：久保川浸水想定区域図



① 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう



わたしの避難計画本体（大雨・地震面）

作成日

年

月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入



河川氾濫による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 家屋流失のおそれあり

家屋流出のおそれはないが

☐ 浸水のおそれあり

[右から選んで□で囲もう]

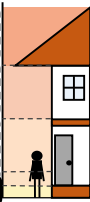
☒ 危険なし

5m～10m未満

3m～5m未満

0.5m～3m未満

0.5m未満



土砂災害による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 土砂災害のおそれあり

[下から選んで□で囲もう]

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

☒ 危険なし

<黄瀬川カメラ情報> 川の防災情報(国土交通省)

近くの川の様子を自宅から安全に確認しよう！

2次元コードが読み込めない場合は、「川の防災情報」で検索！

川の防災情報

検 索



自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

わたしの避難計画

大雨 (河川氾濫・ 土砂災害)

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 [○を付けよう 複数可]

- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ ☒ ラジオ
- ☐ その他()



地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

大地震が
おさまったら

・ブレーカーを落とす ・ガスを止める



区の
安否確認

に集まる



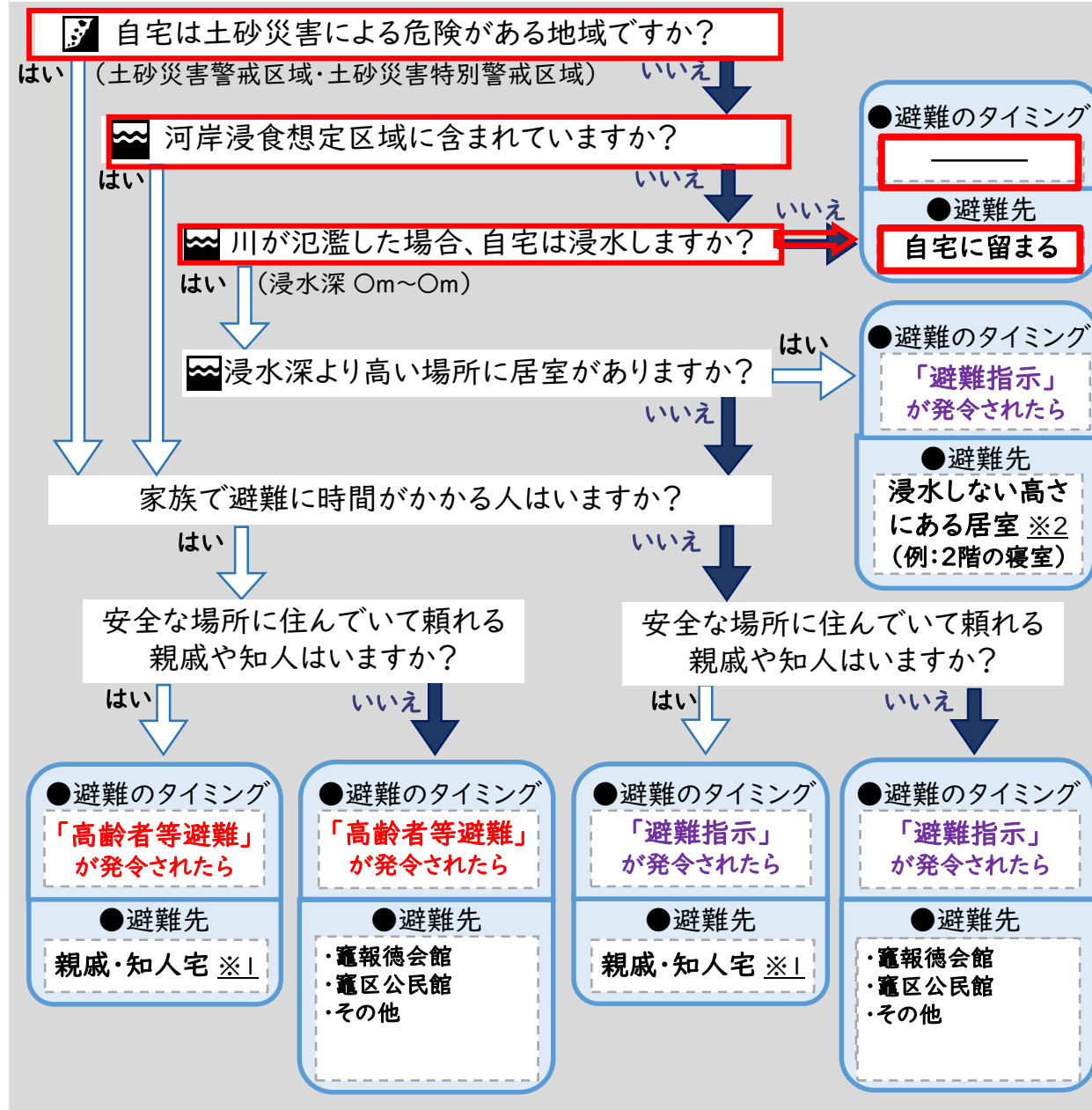
自宅に被害があったら
一次避難所へ

自宅に被害がなかったら
自宅で待機

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。

※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておこう。

わたしの避難計画本体（大雨・地震面）

作成日

年

月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入



河川氾濫による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 家屋流失のおそれあり

家屋流出のおそれはないが
☐ 浸水のおそれあり

[右から選んで□で囲もう]

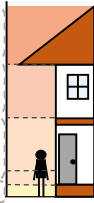
☒ 危険なし

5m～10m未満

3m～5m未満

0.5m～3m未満

0.5m未満



土砂災害による危険

(いずれか1つに☑)

☐ 土砂災害のおそれあり

[下から選んで□で囲もう]

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

☒ 危険なし

<黄瀬川カメラ情報> 川の防災情報(国土交通省)

近くの川の様子を自宅から安全に確認しよう！

2次元コードが読み込めない場合は、「川の防災情報」で検索！

川の防災情報

検 索



自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

わたしの避難計画

大 雨



河川氾濫・



土砂災害)

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング

●避難先

自宅に留まる

●情報収集手段 [○を付けよう 複数可]

- ☐ 御殿場市公式LINE
- ☐ 御殿場市ほっとメール
- ☐ 静岡県防災アプリ
- ☐ テレビ 、ラジオ
- ☐ その他()



地 震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

大地震が
おさまったら

・ブレーカーを落とす ・ガスを止める



区の
安否確認

に集まる



自宅に被害があったら
一次避難所へ

自宅に被害がなかったら
自宅で待機

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！



地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

○原里地区の地震による危険

震度6弱から震度7の揺れが想定されています。

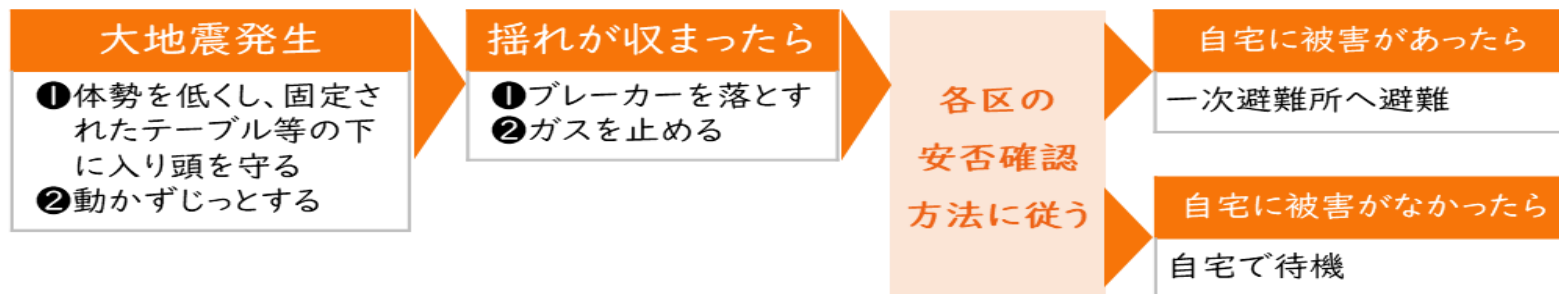
○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる	物につかまらないと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったたり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

○大地震発生時の行動



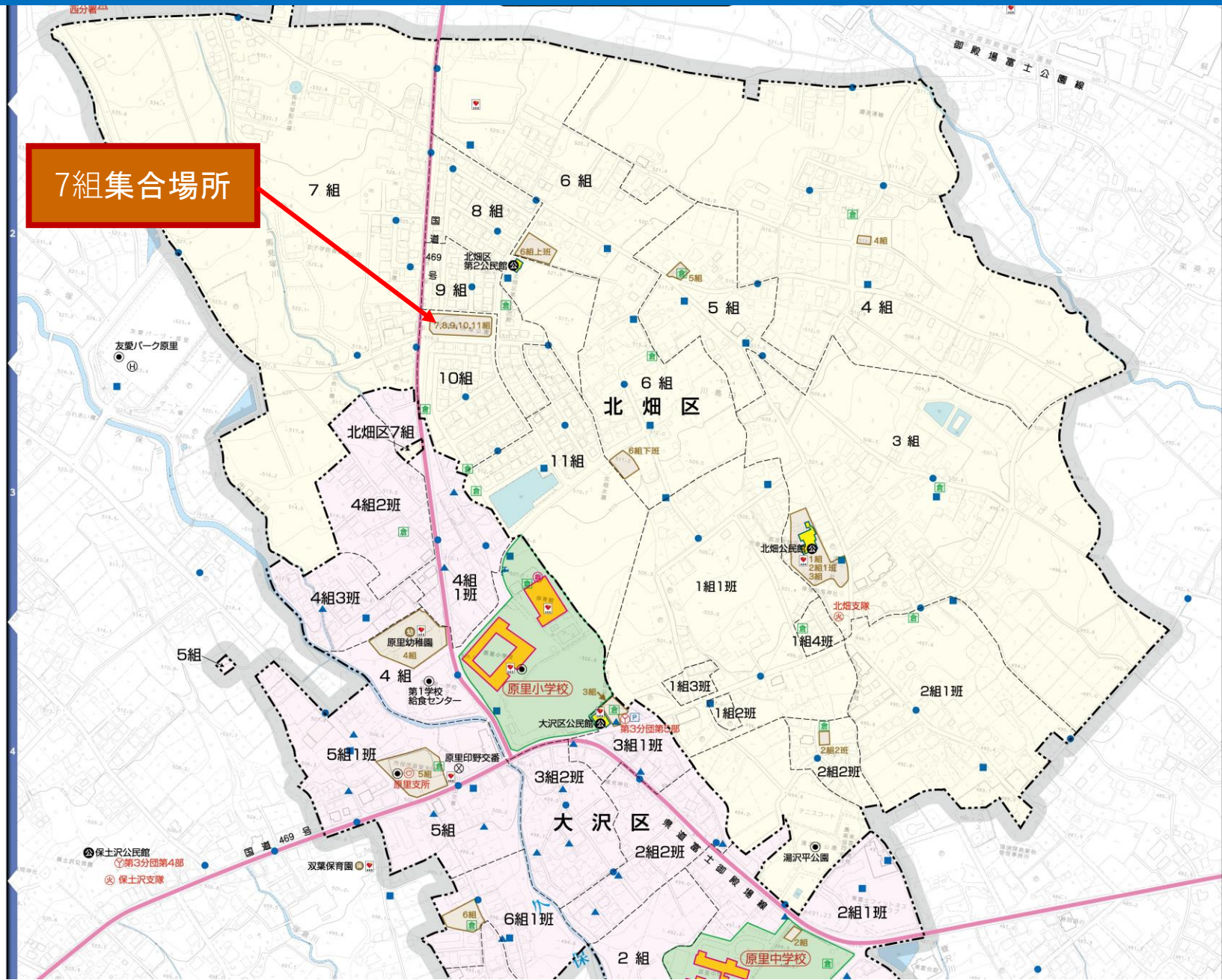
㊦ 区の安否確認方法を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

★区の安否確認方法

組・班集合場所

24組集合場所

に集まる



わたしの避難計画本体（大雨・地震面）

作成日

年 月

冷蔵庫や玄関など
目につく場所に貼っておこう！



御殿場市公式キャラクター「こめこ」

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫による危険	土砂災害による危険
(いずれか1つに☑) ☐ 家屋流失のおそれあり 家屋流出のおそれはないが ☐ 浸水のおそれあり 〔 右から選んで□で囲もう〕 ☒ 危険なし	(いずれか1つに☑) ☐ 土砂災害のおそれあり 〔 下から選んで□で囲もう〕 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域 ☒ 危険なし

<黄瀬川カメラ情報> 川の防災情報(国土交通省)
近くの川の様子を自宅から安全に確認しよう！
2次元コードが読み込めない場合は、「川の防災情報」で検索！



自由記載欄（持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など）

わたしの避難計画

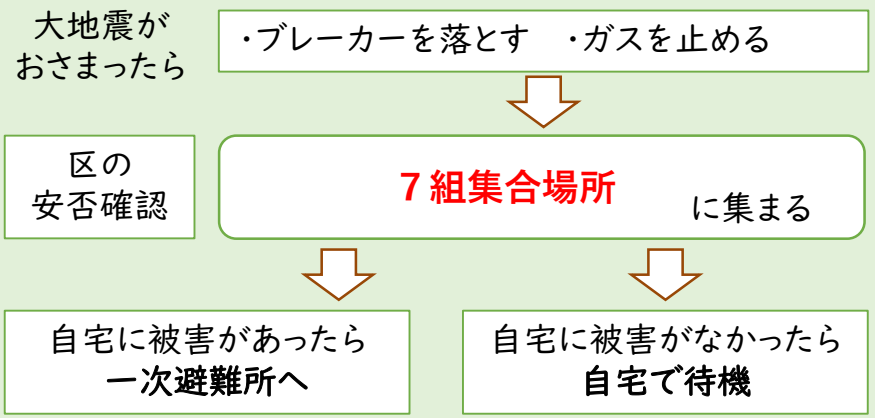
大 雨（ 河川氾濫・ 土砂災害）

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

●避難のタイミング 避難指示発令後	●情報収集手段 〔○を付けよう 複数可〕 ☐ 御殿場市公式LINE ☐ 御殿場市ほっとメール ☐ 静岡県防災アプリ ☐ テレビ ☒ ラジオ ☐ その他（ ）
●避難先 2階の寝室	

地 震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入



大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

「わたしの避難計画」を作ろう

スマホで作成できる。

Pickup

「わたしの避難計画」をつくろう

今後起こりうる災害に備えて、「いつ」「どこ」に避難するか事前に決めておくことはとても重要です。

「わたしの避難計画」は、パソコンやスマートフォンを利用し、質問に答えていくだけで簡単に作成できます。

ハザードマップで
自宅のリスクを
確認できる

避難のタイミングが
わかる

災害時の避難先が
わかる

「わたひな家」



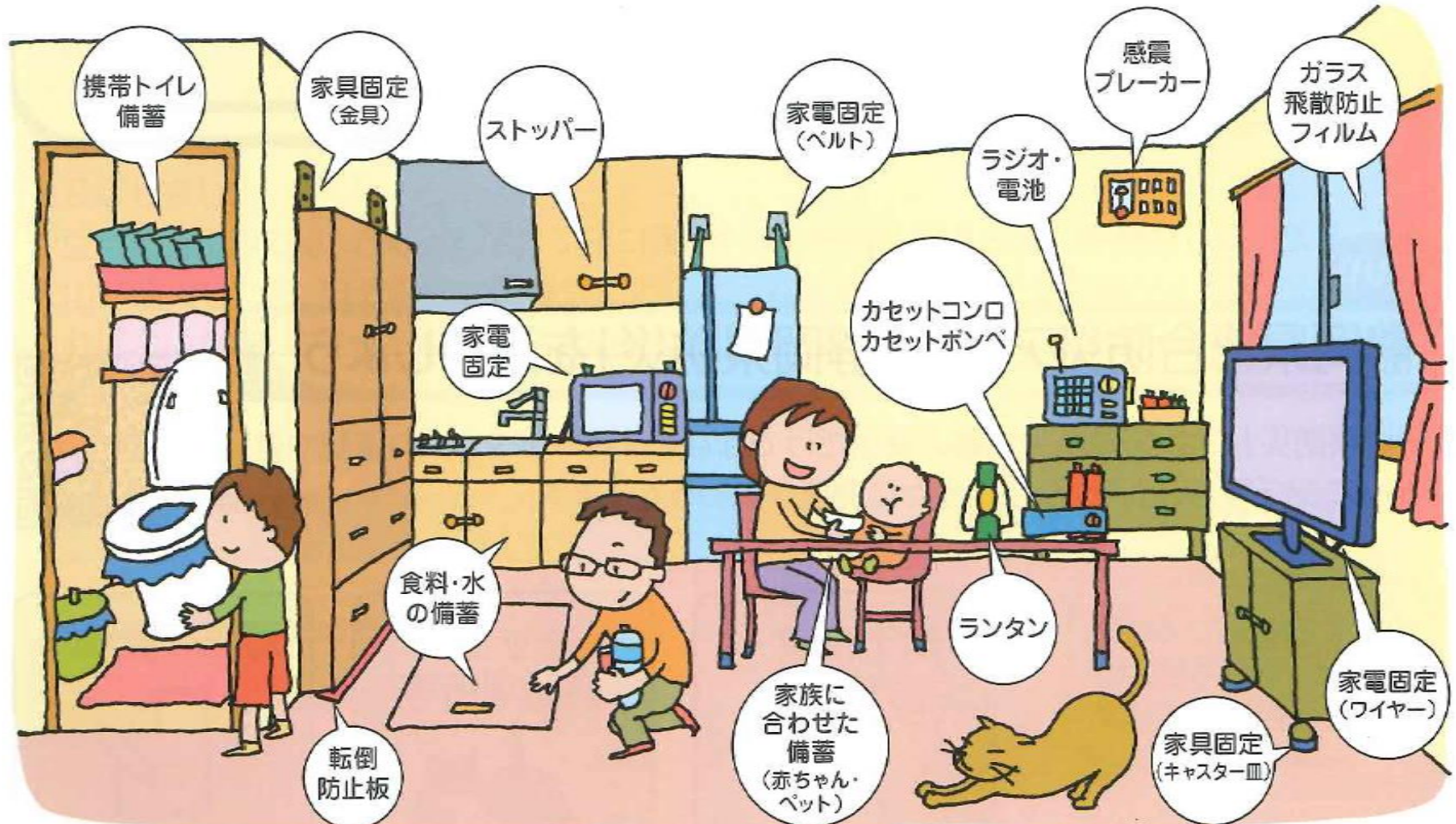
詳しくは→



4 日頃の備え

自宅での避難生活

自宅の被害が軽微で、備蓄もしてあれば、自宅での生活を続けることができます。発災直後は、電気・上下水道・ガスなどのライフラインが止まるなどの不便はあっても、プライバシーを守ることができます。また、避難所などでの避難生活に比べ、速やかな生活再建に向け動き出すことができます。



在宅生活継続（在宅避難）が最良

耐震化（災害に強い家に住む）

震度7のような強い揺れの中では、人は何もできません。長時間を過ごす場所である自宅を、地震で倒壊しないようにしておくことが重要です。



昭和56年5月以前建築された木造住宅が対象

木造住宅耐震補強等事業			
耐震補強工事費への補助	震補強 +	全員65歳以上	耐震補 +
最大100万円		20万円	在宅避難促進住宅 15万円
税金の優遇制度（耐震改修促進税制）			
所得税	耐震補強工事費又は基準額の10%を控除（25万円上限）		
固定資産税	耐震補強工事をする、1年間半額に減税		

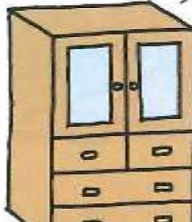
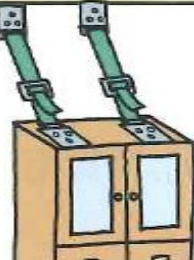
家具・家電の固定、ガラス飛散防止

大地震が突然来ても、命を失わないためには「家具・家電の固定」も重要です。また、ケガをしないためには「ガラス飛散防止」も大切です。

〈注意〉家具・家電の固定には、取り付ける場所の壁面や天井にも十分な強度が必要です。



【静岡県
わが家の地

使用条件	器具の効果				
	小				大
単独使用	 ストッパー式				
家庭内家具等転倒防止推進事業（御殿場市の状況）					
家庭内家具等転倒防止推進事業					
組み合わせて使用	固定台数	申請者負担額			
		一般世帯	高齢者世帯等		
	1台	2,100円	630円		
	2台	2,400円	720円		
	3台	2,700円	810円		
	4台	3,000円	900円		
	5台	3,300円	990円		

申請は1世帯につき1回限りです。

受付は御殿場市役所危機管理課(82-4370)または各支所、駅前サービスセンターへ

必要な物資等の備蓄

非常持出し品は、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。「わが家の非常持出し品リスト」を作り定期的に点検を行ない、非常持出し袋などに入れ、いつでも持ち出せる場所に置きましょう。また、備蓄しておき後で取り出す物と分けておきましょう。

ポイント



- 非常持ち出し品は、両手が見えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- 避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう。
- 自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。
- 定期的に中身をチェックしましょう。

貴重品

- ☐ 現金（小銭を含む）
- ☐ 車や家の予備鍵
- ☐ 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
- ☐ 通帳、保険証、免許証のコピー
- ☐ 母子健康手帳
- ☐ お薬手帳



情報収集用品

- ☐ 携帯電話（充電器を含む）
- ☐ 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- ☐ 家族の写真（はぐれた時の確認用）
- ☐ 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- ☐ 広域避難地図（ポケット地図でも可）
- ☐ 筆記用具・ノート



便利品など

- ☐ マスク
- ☐ ビニール袋
- ☐ アルミ製保温シート
- ☐ 毛布又は寝袋
- ☐ スリッパ
- ☐ 軍手か皮手袋
- ☐ マッチかライター
- ☐ 給水袋
- ☐ 雨具（レインコート、長靴など）
- ☐ レジャーシート
- ☐ テント
- ☐ バール・ジャッキ
- ☐ バイク・自転車
（できればノーパンク仕様）



食料など

- ☐ 食料品
(非常食3日分を含む7日分)
- ☐ 飲料水
(1人1日3リットルを7日分)



便利品など

- ☐ 簡易トイレ
- ☐ ヘルメットか防災ずきん
- ☐ 懐中電灯 (予備電池を含む)
- ☐ 笛やブザー
(音を出して居場所を知らせるもの)
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ スプーン・はし・カップ
- ☐ ラップ類
- ☐ 使い捨てカイロ



清潔・健康のためのもの

- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬・持病薬
- ☐ タオル
- ☐ トイレットペーパー・ティッシュペーパー
- ☐ 着替え (下着を含む)
- ☐ ウェットティッシュ・汗取りシート
- ☐ 予備の入れ歯・補聴器
- ☐ 歯みがきセット



その他

- ☐ 紙おむつ (幼児用・高齢者用など)
- ☐ 生理用品
- ☐ 粉ミルク・哺乳瓶
(赤ちゃんに必要なもの)
- ☐ ペットフード
- ☐ その他自分の生活に欠かせないもの



ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。
支部作成「非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト」参照

飲料水

1人1日 **3ℓ** × 家族人数分 × **7日分以上**

食料

1人1日 **3食** × 家族人数分 × **7日分以上**

携帯トイレ

1人1日 目安**5回** × 家族人数分 × **7日分以上**

(5) 降灰（小さな噴石を含む）可能性マップ



(5) 火山灰による被害 その1

交通障害

- 火山灰が道路に降り積もることにより、スリップ事故を引き起こしたり、車が通行不能になったりします。
- 雨が降った場合は火山灰が固まり、5mm程度の降灰でも道路や鉄道の利用ができなくなるおそれがあります。
- 飛行場では条件がより厳しく、1mm程度の降灰により空港を閉鎖した事例が報告されています。



ライフラインへの影響

電柱(がいし)に火山灰が付着して停電を引き起こしたり、浄水場への降灰により水質を低下させるおそれがあります。



商工業への影響

商品に火山灰が積もったり、建物の内部に火山灰が侵入して精密機器が故障するおそれがあります。



農作物被害

- 露地栽培の作物に降り積もると商品価値を損ないます。
- 日照の減少などにより農作物が生育不良となります。
- 火山灰の重みでビニールハウスが損傷するおそれがあります。



建物被害

湿った火山灰が30cmも積もると、木造の家が倒壊するおそれがあります。



(5) 火山灰による被害 その2

降灰や風に流されて降る小さな噴石とその影響

火山噴火による降灰の被害については、建物倒壊・交通障害・ライフラインへの影響・農作物被害・健康被害など、多岐にわたって発生し、被害の程度は“分野ごと・降灰量ごと”に異なることが知られています。また、小さな噴石が風に流されて落下して、車の窓ガラスを割る被害なども報告されています。



風に流されて降る小さな噴石の落下

- ・強風時には10 km以上も流されます。
- ・車の窓ガラスを割ったり、人にあたればケガのおそれがあります。
- ・概ね1 cm以上のものから被害が生じます。



小さな噴石の落下で車の窓ガラスが破損



観測された小さな噴石(最大4cm)

健康被害

火山灰が目に入ったり、大量に吸い込んだりした場合、目・鼻・のど・気管支に異常が出たり、ぜんそくの症状が悪化するおそれがあります。

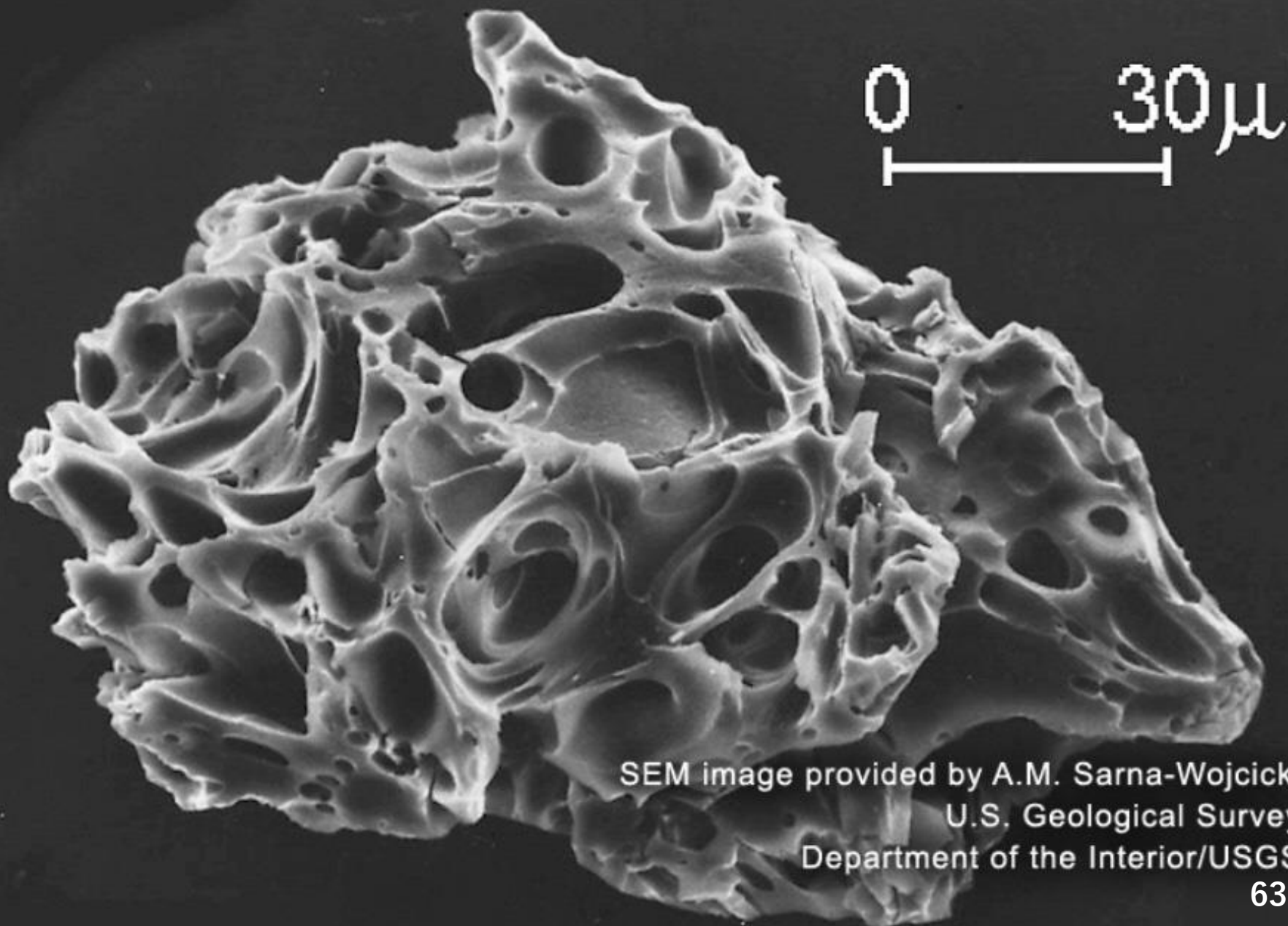


南日本新聞社提供

降灰による影響は、分野ごと・降灰量ごとにいろいろあるのね。



火山灰の正体は、こんなやつ！！



SEM image provided by A.M. Sarna-Wojcicki
U.S. Geological Survey
Department of the Interior/USGS

避 難 に 備 え て

●避難する場合は、以下に注意しましょう

■忘れてませんか？

- 1 戸締り、電気、ガスの元栓を確認しましょう。
- 2 貴重品は忘れずに持参しましょう。
- 3 非常持ち出し品を確認しましょう。
- 4 外出中の家族のために、避難先を書いたメモを残しましょう。

■避難する場合は・・・

- 1 市役所や消防団などの指示に従い、落ちついて行動しましょう。
- 2 お年寄り、赤ちゃんのいる人、体の不自由な人、外国人などの避難を助けましょう。
- 3 小石が降ってくることがあるのでヘルメットなどで頭を守りましょう。
また灰を吸い込まないようにマスクやゴーグルをつけましょう。
- 4 くぼ地には有毒ガスがたまりやすいので、近づかないようにしましょう。

■避難場所では・・・

- 1 人数を確認し、逃げ遅れた人がいないか確認しましょう。
- 2 お互いに助け合いましょう。
- 3 ラジオやテレビ、同報無線などの情報に注意しましょう。



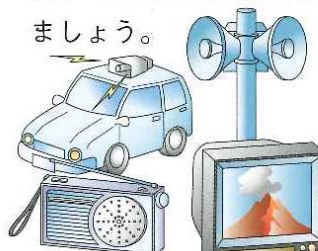
●噴火しそうな時、噴火が始まった時には

気象庁が発表する火山
情報に注意しましょう。

デマやうわさに惑わさ
れないようにしましょう。

テレビやラジオのニュ
ース、市の無線などを
聞いて正しい情報を得
ましょう。

避難勧告などの指示が
あった場合には従いま
しょう。



避難する時は・・・

火山灰や噴石から、
身を守る。

熱が籠っている
噴石などから、守る。

上から降ってくる
火山灰から、身を守る。

噴煙で太陽が遮られると、昼
間でも真っ暗になるため、懐
中電灯も必要になる。

噴火時に避難する時の服装



火山灰を吸い込まない
ように又、眼に入らな
いようにする。

非常持出し品など

堆積した、火山灰により、
滑りやすくなっているのを、
なるべく滑り止めのついている靴

いずれも県富士山科学研究所まとめ